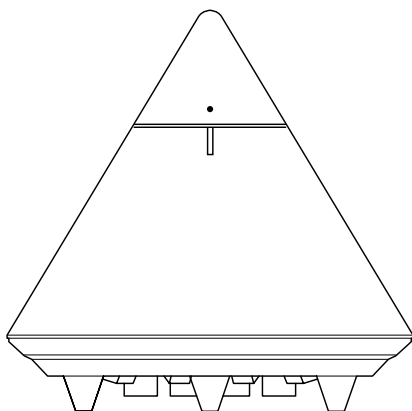




# TDA501II アンプ TD307PAII 用アンプ TD508PAII 用アンプ

## 取扱説明書



このたびは、アンプをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に、必ず保管してください。

FUJITSU TEN

## 目次

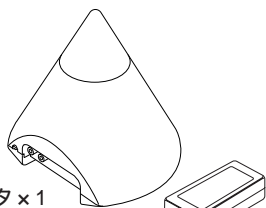
## 目次

はじめに .....	2
安全に正しくお使いいただくために .....	3
使用上のご注意 .....	5
各部の名称と働き .....	6
接続例 .....	8
お手入れ/仕様 .....	9
保証とアフターサービス.....	10

## はじめに

## 梱包物

アンプ × 1

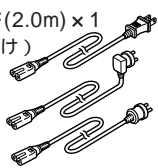


ACアダプタ × 1

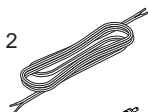
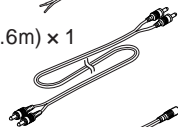
電源コード(2.0m) × 1  
(日本・米国向け)

(英国向け)

(欧州向け)



スピーカコード(3.0m) × 2

RCA RCAコード(1.6m) × 1  
(TD307PA には  
付属していません)RCA ステレオミニコード  
(1.6m) × 1ステレオミニ ステレオミニコード  
(1.6m) × 1

取扱説明書 × 1

保証書

\* 本製品は、タイムドメイン理論に基づくスピーカの性能を最大限に発揮するために設計されたアンプです。

## 《タイムドメイン理論とは》

タイムドメイン理論とは、音の波形が出てから消えるまでの、時間的な変化を正しく再現し、再生される音の波形を限りなく原音に忠実に近づけるために生まれた理論です。この理論によって時間領域(タイムドメイン)での再現性を向上させたタイムドメインオーディオシステムは、音の定位や演奏家が音楽に込めた繊細微妙な表現が、より忠実に再生できるようになりました。

# 安全に正しくお使いいただくために

## ご使用の前に

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

### **警告**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### **注意**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## **警告**

本体に表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災・感電・故障の原因となります。

本製品のキャビネットは、開けない。

感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、当社窓口にご相談ください。

また、本製品を改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない。

火災・感電の原因となります。

本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない。

内部に水や異物が入った場合、火災・感電の原因となります。

付属以外の電源コードは使用しない。

付属以外の電源コードを使用すると、火災・事故の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり本製品の下敷にしない。

また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない。

発熱により、火災の原因となります。

電源コードが傷ついたときは（芯線の露出・断線など）使用しない。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、異常な音がしたり、プラグやコードが熱かったり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて点検を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一落したり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り（電源）プラグをコンセントから抜いて、それからご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 **注意**

雷が鳴り出したときは、安全のため、早めに電源コードをコンセントから抜いてアンテナ線やプラグには触れない。

雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの点検を依頼してください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所又は、高所に置かないでください。

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近くには置かないでください。

キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

極端に寒い場所に置かないでください。

故障や事故の原因となることがあります。

火気の近くに置かないでください。

故障や事故の原因となることがあります。

チューナー等に雑音が生じる場合は、この本製品と離して設置してください。

移動させるときは、必ず接続されている機器の電源を切り、電源コード、各機器の接続コード、スピーカーコード等を抜いた後、行ってください。

コードを接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電やけがの原因となることがあります。

旅行などで長期間本製品をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

TVや他のオーディオ機器を接続する場合は、必ず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続してください。

電源を入れる前には、アンプ・サブウーファの音量を必ず最小にしてください。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください。

そのまま使用または、長時間音が歪んだ状態で使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

# 使用上のご注意

電源を入れる前、または入力切換を行う前には、必ず音量を最小にしてください。  
突然の大出力により、接続されたスピーカシステムを破損させる原因となります。

楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。

特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。  
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

スピーカは、必ずすべての機器の電源を切った状態で接続してください。  
誤ってスピーカコードをショートさせると、アンプ内の保護回路が働き、一時的に音声が出られなくなります。

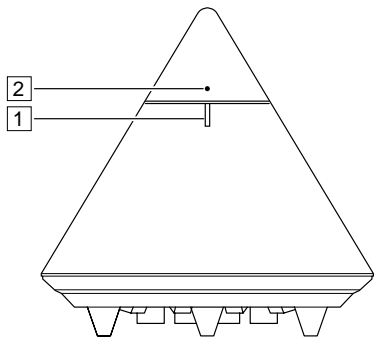
このときは、一度電源コードをコンセントから抜き、ショートしている部分を正常にし、再度コンセントに接続した後、使用してください。

又、本アンプの出力のマイナス側はアースではありませんので、他の機器のマイナス側とスピーカセレクタ等で接続しないようにしてください。

本製品の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。  
ベンジンやシンナー系の液体などは使わないでください。

# 各部の名称と働き

本体



## 1 パワーインジケータ

電源が「ON」時点灯します。

## 2 電源スイッチ兼音量調整つまみ

電源の「ON」、「OFF」切替および音量を調整するつまみです。

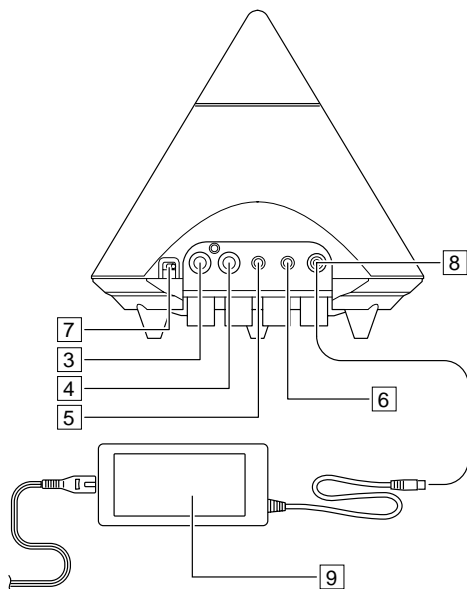
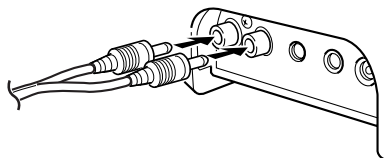
右に回すと「カチッ」という音とともに電源が入って音量が上がります。左に回すと音量が下がり、「カチッ」という音とともに電源が切れます。

\* ポータブルCDプレーヤなどの再生機やパソコンなどのヘッドフォン端子と接続する場合、再生機やパソコン側の音量を適度に上げてお使いください。

## 3, 4 RCAライン入力端子 (LINE1)

RCAコードを使用して、機器を接続します。

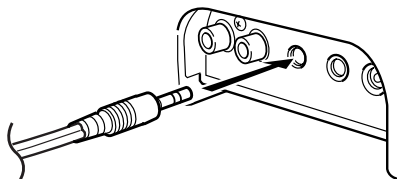
\* ポータブルCDプレーヤなどの再生機やパソコンなどのヘッドフォン端子と接続する場合、付属のRCA ステレオミニコードをお使いください。

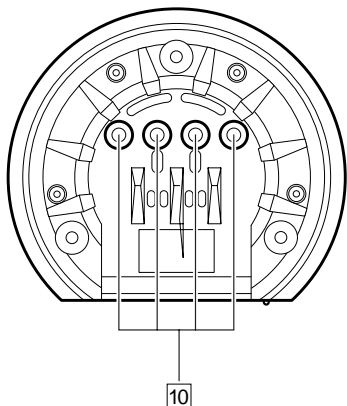


## 5 ステレオミニライン入力端子 (LINE2)

ステレオミニコードを使用して、機器を接続します。

\* ポータブルCDプレーヤなどの再生機やパソコンなどのヘッドフォン端子と接続する場合、付属のステレオミニ ステレオミニコードをお使いください。





### 6 ステレオミニライン出力端子

本製品からサブウーファへ信号を出力するための端子です。本製品の音量調整つまみと連動して音量が変わります。

- \* 本製品にはローパスフィルタ機能はありませんので、サブウーファ側で調整してください。
- \* 本端子に接続するとスピーカ出力にハイパスフィルタ機能が働きます。(カットオフ周波数は90Hzです。)

### 7 ライン入力切替えスイッチ

本機のライン入力を切替えるスイッチです。

左側：RCAライン入力 (LINE1)

右側：ステレオミニライン入力 (LINE2)

### 8 電源入力端子

電源を接続します。

- \* 付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。

故障の原因になるばかりか、火災の原因となることがあります。

### 9 ACアダプター

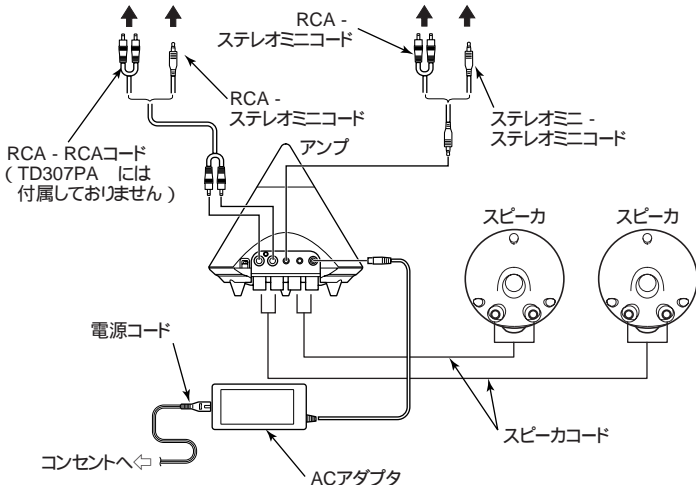
### 10 スピーカ出力端子

接続の際には、スピーカコードの端が隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

# 接続例

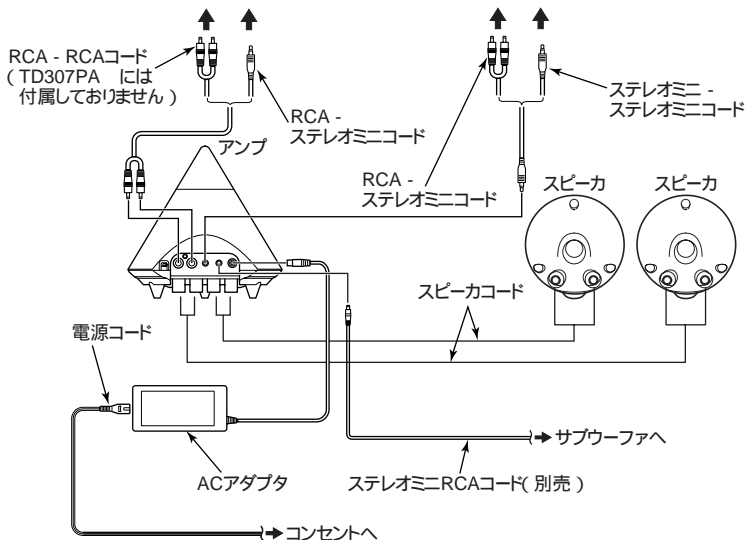
## プレーヤ+アンプ+スピーカ

CDプレーヤなどのライン出力端子へ  
パソコンなどのヘッドフォン出力端子へ



## プレーヤ+アンプ+スピーカ+サブウーファ

CDプレーヤなどのライン出力端子へ  
パソコンなどのヘッドフォン出力端子へ





# お手入れ / 仕様

## お手入れ

お手入れする前には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

この製品の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

本製品を、ベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。

キャビネット表面を傷める原因となります。



## 動作に異常が起きたとき

本製品を使用中に、強い外来ノイズ（過大な衝撃、静電気、落雷による電源電圧の異常等）を受けた場合、または誤った操作をした場合に、正しい動作をしなくなるなどの現象が発生することがあります。

そのようなときは、電源スイッチを一度、「OFF」にしてください。

再び電源を入れ、正常な動作に戻ることを確認してください。

（引き続き異常が発生する場合は、当社窓口へご連絡ください。）

## 仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

### 【アンプ部】

定格出力	: 12W	
	(負荷8	THD: 1%時)
最大出力	: 15W	
	(負荷8	THD: 10%時)
出力形式	: BTL出力	
全高調波歪率	: 0.05% (1W出力時 1kHz)	
周波数特性	: 10Hz ~ 100kHz (±3dB)	
入力感度	: 180mVrms (12W出力時)	
信号対雑音比	: 85dB	
分離度	: 50dB以上	
入力インピーダンス	: 10k	
適合負荷インピーダンス	: 8	
外形寸法	: W159 × D137 × H154	
質量	: 930g	

### 【ACアダプタ】

入力電圧	: 100V (日本)
	120V(北米)
	230V(欧州)
出力電圧	: DC + 17V
出力電流	: DC2.9A
外形寸法	: W121 × D56 × H33
質量	: 360g

# 保証とアフターサービス

## 保証書（別添）

保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

### 保証期間

お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理及びご不明な点に関するご相談は

下記「富士通テン株式会社 ECLIPSE TDインフォメーション」にお問い合わせください。

富士通テン株式会社  
ECLIPSE TDインフォメーション  
フリーダイヤル：0120-02-7755  
受付時間：午前10:00～12:00、  
午後1:00～5:00  
(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

電子メールアドレス：TD-info@tm.ten.fujitsu.com


## 修理を依頼されるときは

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！	
 愛情点検	<p>このような症状はありませんか？</p> <p>電源コードやプラグが異常に熱い コゲくさい臭いがする 電源コードに深いキズや変形がある その他の異常や故障がある</p>

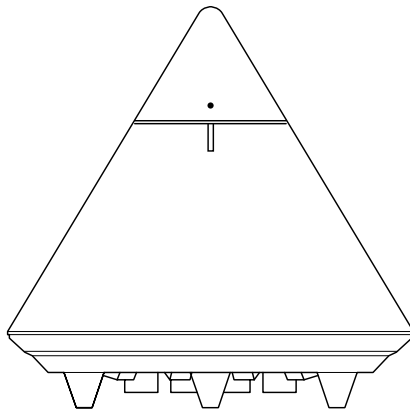


<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、当社窓口にご相談ください。</p>
--



**TDA501II Amplifier**  
**Amplifier for TD307PAII**  
**Amplifier for TD508PAII**

**OWNER'S MANUAL**



Thank you for your purchase of the Amplifier.

Please read this instruction manual carefully and use the product correctly.

Before use, be sure to read "Using the Amplifier Safely and Correctly".

Please keep this instruction manual together with the warranty in a place where it can be accessed at any time.

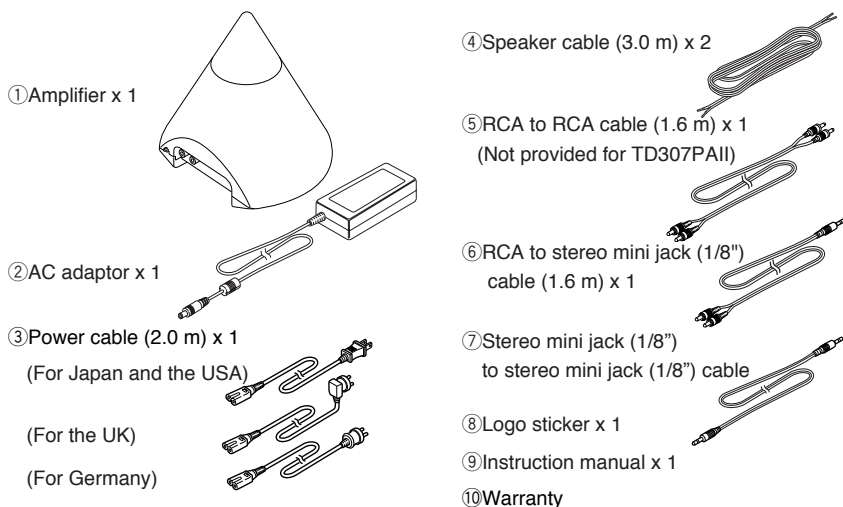
# Contents

## ■ Contents

Introduction.....	12
Using the Amplifier Safely and Correctly.....	13
Precautions on Use.....	15
Names and Functions of Parts.....	16
Example of Connection.....	18
Care and Specifications.....	19
Warranty and After Service.....	20

# Introduction

## ■ Packed items



This amplifier is designed based on the time domain logic to demonstrate the speaker's capacity to the maximum.

### <<What is time domain logic?>>

Time domain logic is a logic that was developed to correctly reproduce the variation over time from the point where the sound waves appear to the point where they disappear, and make the waves of the reproduced sound as faithful as possible to the original sound.

"Time domain audio systems" that enhance reproducibility using time domains following this logic have made it possible to more faithfully reproduce the orientation of sound, and fine and delicate expressions imparted to music by the performer.

# Using the Amplifier Safely and Correctly

## ■ Before Use

The following indications are given in this instruction manual and on the product itself to ensure that you use the product safely and correctly, and to prevent hazards posed to the customer or other people, and damage to property. Make sure you understand the information in these indications before reading the main text.



### WARNING

Ignoring this indication and handling the product incorrectly may lead to death or serious injury.



### CAUTION

Ignoring this indication and handling the product incorrectly may lead to injury or property damage.



## WARNING

- Do not use any voltage other than that marked on the product body.  
This can lead to fire, electric shock, or product failure.
- Do not open the amplifier cabinet.  
This can lead to electric shock or injury. If internal inspection, adjustment or repairs are required, please consult Fujitsu Ten.  
Do not modify the product.  
This can lead to fire or electric shock.
- Do not use the amplifier in a bathroom, anywhere where it will be exposed to rain, or in an environment with high humidity.  
This can lead to fire or electric shock.
- Do not place a vase, flower pot, cup, or any vessel containing cosmetics, chemicals or water on or near the amplifier.  
If water or foreign matter gets inside the amplifier, it could lead to fire or electric shock.
- Do not use any power cable other than the one supplied with the product.  
Using another power cable could lead to fire or accidents.
- Do not damage the power cable, bend it excessively, twist it, modify it, or rest the amplifier on it.  
Note also that resting heavy objects on the power cable, subjecting it to heat or pulling on it could break the cable, leading to fire or electric shock.
- Do not make too many connections at the same location.  
This can cause fire due to heat generation.
- If the power cable is damaged (i.e. the wire cores are exposed or broken), replace it.  
Continuing to use a damaged cable can lead to fire or electric shock.
- If you notice any abnormal status, such as an abnormal noise, heat buildup on the plug or cable, emission of smoke, or a strange smell, switch the power off, disconnect the cable from the power outlet, and request an inspection.  
Continuing to use the product in the abnormal status could lead to fire or electric shock.
- If you drop or break the amplifier, turn off the power switch on the equipment itself, remove the plug (POWER) from the power outlet, then contact Fujitsu Ten. Continuing to use the amplifier in this condition may lead to fire or electric shock.
- When thunder starts, for the sake of safety, promptly remove the plug from the power outlet and avoid touching the antenna wire or plug. Thunder can lead to fire, electric shock, or product failure.



## CAUTION

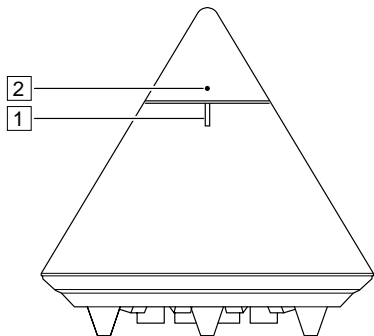
- Do not remove the plug from the power outlet by pulling on the cable.  
This can damage the cable, leading to fire or electric shock.
- Do not insert or remove the power plug with wet hands.  
This can lead to electric shock.
- Do not run the power cable close to hot equipment.  
The insulation on the cable will melt, leading to fire or electric shock.
- Plug the power supply plug into the outlet up to the base of the pins. If it is incompletely inserted, heat will be generated and may lead to a fire when dust settles. In addition, anyone touching the pins of the plug may sustain an electric shock.
- Do not connect to a power outlet in which the power plug is loose even though it has been inserted up to the base of the pins. Heat will be generated and may lead to a fire. Request an electrician to inspect the outlet.
- If dust or metal debris adheres to the pins of the power plug or close to them, take the power plug out of the outlet and remove the dust/metal with a dry cloth. Using the plug with the dust/metal present can lead to fire or electric shock.
- Do not place the amplifier in or overhead or unstable locations, such as on a rickety stand or a platform with a slope. The amplifier may fall, leading to injuries or product failure.
- Do not place the amplifier in a location where it will be exposed to oil smoke or water vapor, such as next to a kitchen table or humidifier. This can lead to fire or accidents.
- Do not place the amplifier in a location where it is struck directly by a cool air stream.  
This can lead to condensation, current leakage or burning.
- Do not place the amplifier in a location where it is exposed to direct sunlight for long periods of time or close to heating equipment. This can lead to deformation or discoloration of the cabinet, or to fire.
- Do not place the amplifier in any extremely cold location.  
This can lead to product failure or accidents.
- Do not place the amplifier close to naked flame.  
This can lead to product failure or accidents.
- If there is any radio interference due, for example, to proximity to a tuner, install the tuner and amplifier at a greater distance from each other.
- Before moving the amplifier, first switch off the power supply to the connected devices and disconnect the power supply cable, the connecting cables to each device, the speaker cables, and so on.  
If you move the amplifier with the cables connected, a cable could be damaged, leading to fire or electric shock.
- Before cleaning/caring for the product, be sure to switch off the power supply and remove the power cable plug from the power outlet. Otherwise you could sustain an electric shock or injuries.
- If you do not use the amplifier for a long time, for example when you are on vacation, for the sake of safety always switch off the power supply and remove the power cable plug from the power outlet.  
Otherwise there will be a danger of fire.
- Before connecting a TV or any other audio device, be sure to switch off the power supply, carefully read the instruction manuals of the devices involved, and make the connections in accordance with the directions in these manuals.
- Before turning on the power, make sure that the volumes of the subwoofer and the amplifier are set to minimum.  
Otherwise a very loud noise could suddenly be generated, causing hearing impairment or other problems.
- If you hear an abnormal sound while the audio equipment is operating at a high volume, turn the volume down.  
If you continue to use the amplifier at the high volume, or use it for a long time while it is producing distorted sound, the speaker will heat up, and this could lead to fire.

# Precautions on Use

- Before turning the power on, and before switching inputs, always set the volume to minimum.  
A sudden large output could damage the connected speaker system.
- Depending on the location, your enjoyment of music could annoy other people. Please set the volume to a suitable level so as not to disturb the neighbors.  
At nighttime particularly, even a low volume of sound will travel.  
Please respect each other's concerns so as to maintain a comfortable living environment.
- Make sure that the power to all devices is off before connecting the speaker.  
If the speaker cord is short-circuited accidentally, it activates the protection circuit in the amplifier, leading to a temporary suspension of voice output.  
In such occasion, disconnect the power cable plug from the outlet temporarily, repair then the short-circuit and reconnect the plug to use the amplifier.  
The negative side of the amplifier output is not connected to the ground. Take care not to connect it to the negative side of other devices using the speaker selector, or others.
- If the amplifier becomes soiled, wipe it lightly with a soft cloth moistened with a neutral detergent.  
Do not use thinners or benzene.

# Names and Functions of Parts

## ■ Main Unit



### 1 Power indicator

It glows when the power is turned "ON".

### 2 Power supply switch with the volume adjust function

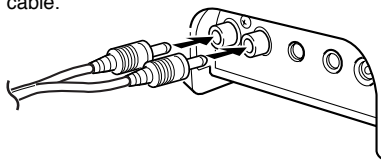
The knob turns "ON" or "OFF" the power supply and adjusts the sound volume. Turning the knob to right turns on the power with a "click" sound and raises the sound volume. Turning the knob to left brings down the sound volume and turns OFF the power supply ultimately with a "click".

\* When connecting to a player like a portable CD player or the headphone terminal of PC or other devices, raise the sound volume appropriately at the player or PC.

### 3 RCA line input terminal (LINE 1)

Connect the devices with the RCA cable.

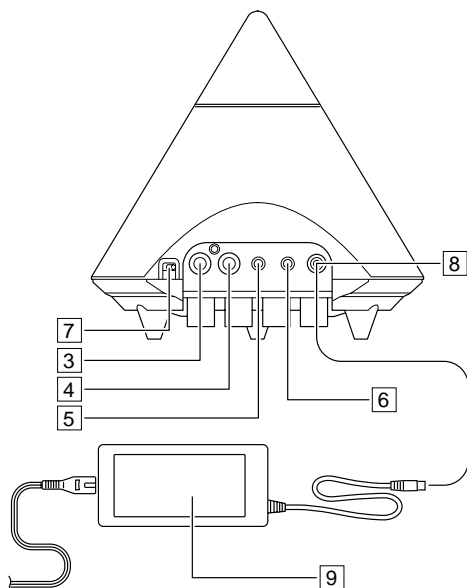
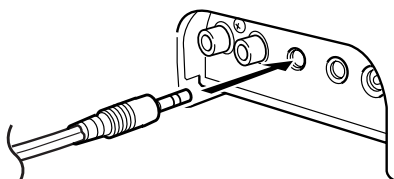
\* When connecting to a player like a portable CD player or the headphone jack of PC, use the attached RCA to stereo mini jack (1/8") cable.



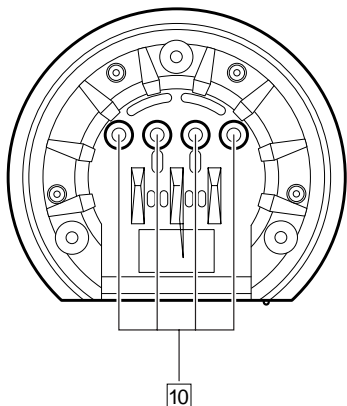
### 5 Stereo mini jack (1/8") line input terminal (LINE 2)

Connect the devices with the stereo mini (1/8") cable.

\* When connecting to a player like a portable CD player or the headphone jack of PC, use the attached stereo mini jack (1/8") to stereo mini jack (1/8") cable.







#### 4 Stereo mini jack (1/8") line output terminal

This is the terminal to output signals from the amplifier to the subwoofer. Sound volume will change interlocked with the turns of volume adjust knob on the amplifier.

\* The product has not the low pass filter function. Adjust it at the subwoofer side.

\* If connected to this terminal, the bypass filter function applies to the speaker output. (Cut-off frequency: 80Hz)

#### 5 Line input selector switch

This switch selects the line inputs to the amplifier.

Left side: RCA line input (LINE 1)

Right side: Stereo mini jack (1/8") line input (LINE 2)

#### 6 Power supply terminal

This connects to the power supply.

\* Never use any AC adaptor other than the attached in any event.

Otherwise it could lead to fault or fire.

#### 7 AC adaptor

#### 8 Speaker output terminals

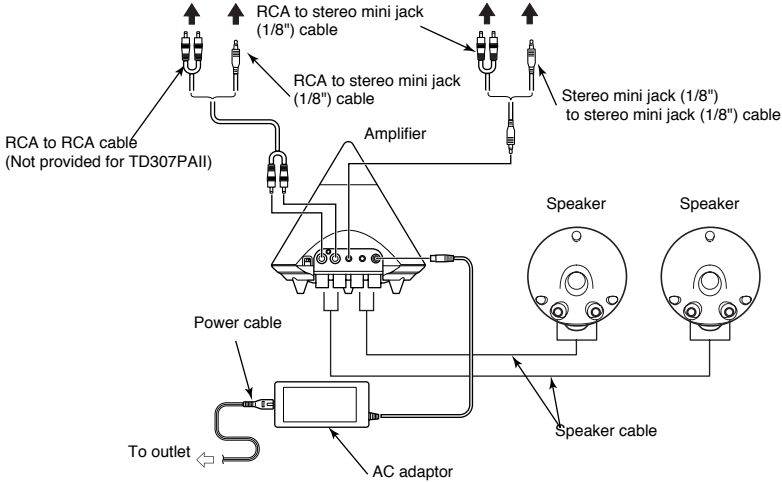
When connecting, connect it securely with care not to touch the end of speaker cord to next terminal.

# Example Connection

## ■ Player + Amplifier + Speaker

To the line output terminal of CD player or other devices  
To the headphone output terminal of PC or other devices

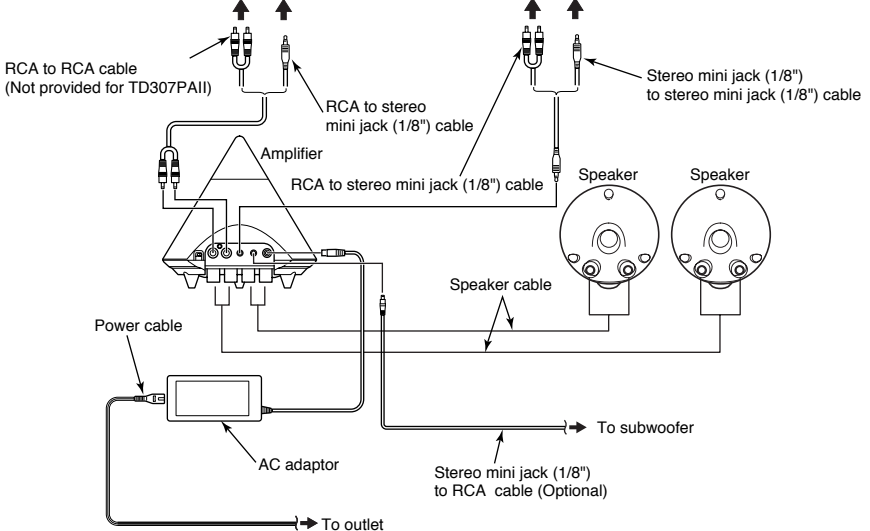
To the line output terminal of CD player or other devices  
To the headphone output terminal of PC or other devices



## ■ Player + Amplifier + Speaker + Subwoofer

To the line output terminal of CD player or other devices  
To the headphone output terminal of PC or other devices

To the line output terminal of CD player or other devices  
To the headphone output terminal of PC or other devices



# Care and Specifications

## ■Care

Before attending to the care of the amplifier, be sure to turn the power OFF and remove the power cable plug from the power outlet. Remove any soiling on the product by wiping lightly with a soft cloth.

If the soiling is severe, wet the cloth with water, wring it out well, wipe the soiling off, and then finish with a dry cloth.

Do not wipe the product with benzene or any thinner.

This could damage the surface of the cabinet.



## ■If the amplifier operates abnormally

If, during use, the amplifier is subjected to strong external noise (abnormal power supply voltage caused by excessive impact, static electricity, or a lightning strike), or it is handled incorrectly, it may stop operating correctly.

If this happens, turn the POWER switch "OFF".

Upon turning the power back ON, check that operation is normal.

(If the fault remains, please contact Fujitsu Ten.)

## Notice for WEEE directive

In accordance with the WEEE directive, whenever this product is sold in member states of the EU after August 13, 2005 it must mandatorily bear the WEEE mark.

When disposing of this product in an EU member state, do so in accordance with the laws of that state, for example by returning it to the distributor.

WEEE : Waste Electrical and Electronic Equipment.

## ■Specifications

Please note that the specifications and external appearance of the amplifier are subject to change without notice for the sake of improvement.

[Amplifier section]

Rated output : 12 W  
(Load 8  $\Omega$ , THD: At 1%)

Max. output : 15 W  
(Load 8  $\Omega$ , THD: At 10%)

Output type : BLT output  
Total high frequency distortion factor :  
0.05% (At 1 W output: 1 kHz)

Frequency characteristic : 10 Hz to 100 kHz  
(+/-3 dB)

Input sensitivity : 180 mVrms  
(At 12 W output)

Signal/noise ratio : 85 dB

Degree of separation : 50 dB

Input impedance : 10 k $\Omega$

Compatible load impedance : 8  $\Omega$

Outside dimensions :

W 159 x D 137 x H 154 (mm)

Weight : 930g

[AC adaptor]

Input voltage : 100 VAC (Japan)  
120 VAC (North America)  
230 VAC (Europe)

Output voltage : +17 VDC

Output current : 2.9 ADC

Outside dimensions:

W 121 x D 56 x H 33 (mm)

Weight : 360 g

# Warranty and After Service

## ■Warranty (appended)

Read the warranty carefully and then keep it in a safe place.

Term of the warranty

The term is one year from the date of purchase.

Note that charges may be made even during the warranty term: read the warranty carefully.

## ■Minimum retention time of performance parts for repairs

The minimum retention time for performance parts for repairs to this product is 8 years after manufacture ceases.

This term is in accordance with MITI guidelines.

“Performance parts for repairs” means those parts that are necessary to maintain the performance of the product.

## ■For consultation about repairs or any point you are unsure about:

Please use the contact details below for “Fujitsu Ten ECLIPSE TD information.”

### Eclipse TD (UK) Ltd

Tel : +44 (0)20 7328 4499

Fax : +44 (0)20 7624 6384

mailto : info@eclipse-td.co.uk

## ■When repairs are requested


[During the warranty term]

Please submit the warranty certificate when requesting repairs.

We will repair the product in accordance with the stipulations on the warranty.

[After the warranty term has ended]

If the product can be made usable through repairs, we will undertake the repair work on a fee-charging basis.

Inspect your audio equipment for a long service life!	
 Caring Inspections	<p>Have you noticed any of these symptoms?</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●The power cable or plug is abnormally hot.</li><li>●There is a burning smell.</li><li>●There is a deep cut in the power cable or it is deformed.</li><li>●Other abnormalities or failures</li></ul>

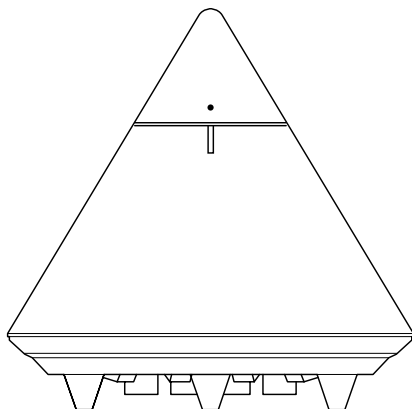
### Stop Using the Product.

To prevent product failure or accidents, turn the power off, remove the power cable from the power outlet, and request an inspection without fail. For details about the charges for inspection and repairs, contact Fujitsu Ten.



Verstärker **TDA501II**  
Verstärker für **TD307PAII**  
Verstärker für **TD508PAII**

# BENUTZERHANDBUCH



Danke, dass Sie sich für den Kauf dieses Verstärkers entschieden haben.

Bitte lesen Sie diese Bedienungsanleitung sorgfältig durch und verwenden Sie dieses Produkt richtig.

Vor der Inbetriebnahme lesen Sie bitte "Sicherer und richtiger Umgang mit dem Verstärker".

Bewahren Sie diese Bedienungsanleitung zusammen mit der Garantie an einem jederzeit zugänglichen Ort auf.

**FUJITSU TEN**

# Inhalt

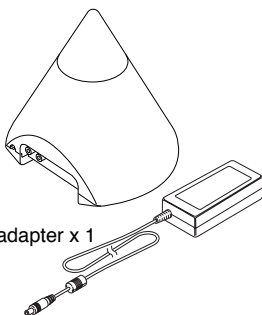
## ■ Inhalt

Einleitung.....	22
Sicherer und richtiger Umgang mit dem Verstärker .....	23
Vorsichtsmaßnahmen für den Betrieb.....	25
Namen und Funktionen der Teile .....	26
Anschlussbeispiel.....	28
Pflege und technische Daten .....	29
Garantie und Kundendienst.....	30

# Einleitung

## ■ Produktumfang

① Verstärker x 1

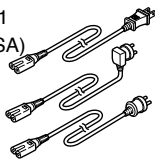


② Wechselstromadapter x 1

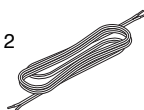
③ Stromkabel (2,0 m) x 1  
(Für Japan und die USA)

(Für das Vereinigte  
Königreich)

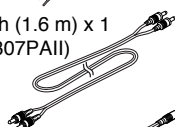
(Für Europa)



④ Lautsprecherkabel (3.0 m) x 2



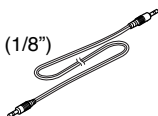
⑤ Kabel von Cinch zu Cinch (1.6 m) x 1  
(Nicht für das Modell TD307PAII)



⑥ Kabel von Cinch zu Stereo-  
Mini-Jack (1/8") (1.6 m) x 1



⑦ Kabel von Stereo-Mini-Jack (1/8")  
zu Stereo-Mini-Jack (1/8")



⑧ Logoaufkleber x 1

⑨ Bedienungsanleitung x 1

⑩ Garantie

Dieser Verstärker wurde auf Grundlage der Time-Domain-Theorie entworfen, um die Leistung des Lautsprechers optimal zur Geltung zu bringen.

### <<Was versteht man unter der Time-Domain-Theorie?>>

Die Time-Domain-Theorie wurde entwickelt, um Änderungen, die bei Schallwellen von der Erzeugung bis zum Abklingen auftreten, korrekt wiederzugeben und somit die Schallwellen des reproduzierten Tons so genau wie möglich dem Originalton anzupassen.

Bei Time-Domain-Audiosystemen, die die Reproduzierbarkeit unter Verwendung von Time-Domains im Sinne dieses Konzepts verbessern, ist eine Schallausrichtung vorhanden und feine Nuancen, die der Musik seitens der Interpreten verliehen werden, werden wiedergegeben.

# Sicherer und richtiger Umgang mit dem Verstärker

## ■ Vor dem Betrieb

Die folgenden Angaben werden in dieser Bedienungsanleitung und auf dem Produkt selbst gegeben, um einen sicheren und korrekten Umgang mit dem Produkt sicherzustellen und um Gefahren für den Kunden und andere Personen sowie Sachschäden zu vermeiden. Vergewissern Sie sich, die Informationen dieser Angaben zu verstehen, bevor Sie den Haupttext lesen.



### **WARNUNG**

Eine Nichtbeachtung dieser Angaben und eine inkorrekte Handhabung des Produkts können zu schweren Verletzungen und zum Tod führen.



### **VORSICHT**

Eine Nichtbeachtung dieser Angaben und eine inkorrekte Handhabung des Produkts können zu Verletzungen und Sachschäden führen.



## **WARNUNG**

- Verwenden Sie nur die auf dem Produktgehäuse angegebene Spannung.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Brand, Stromschlag oder Produktausfall.
- Öffnen Sie nicht das Gehäuse des Subwoofers.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Stromschlag oder Verletzungen. Sind interne Kontrollen, Einstellungen oder Reparaturen notwendig, kontaktieren Sie bitte Fujitsu Ten.  
Nehmen Sie keine Änderungen am Produkt vor.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Brand oder Stromschlag.
- Verwenden Sie den Subwoofer nicht in einem Badezimmer oder an einem anderen Ort, an dem er Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt wird.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Brand oder Stromschlag.
- Stellen Sie keine Vasen, Blumentöpfe, Dosen oder Behälter mit Kosmetika, Chemikalien oder Wasser auf oder in die Nähe des Subwoofers.  
Dringt/dringen Wasser oder Fremdkörper in den Subwoofer, besteht die Gefahr von Brand oder Stromschlag.
- Verwenden Sie nur das mit dem Produkt mitgelieferte Stromkabel.  
Wird ein anderes Stromkabel verwendet, besteht die Gefahr von Brand oder Unfällen.
- Beschädigen Sie nicht das Stromkabel, indem Sie es übermäßig knicken, verdrehen, es verändern oder den Subwoofer darauf stellen. Werden schwere Gegenstände auf das Stromkabel gestellt, wird das Kabel Hitze ausgesetzt oder wird am Kabel gezogen, kann es brechen, wodurch die Gefahr von Brand oder Stromschlag besteht.
- Nehmen Sie nicht zu viele Anschlüsse an derselben Stelle vor.  
Ansonsten besteht aufgrund der Hitzeerzeugung Brandgefahr.
- Ist das Stromkabel beschädigt (z. B. wenn die Drahtkerne sichtbar oder beschädigt sind), ersetzen Sie es.  
Wird ein beschädigtes Stromkabel verwendet, besteht die Gefahr von Brand oder Stromschlag.
- Stellen Sie Anomalien fest, wie z. B. anormale Geräusche, Rauchentwicklung oder einen ungewöhnlichen Geruch, schalten Sie den Strom ab, ziehen das Kabel aus der Steckdose und lassen eine Kontrolle durchführen.
- Wird das Produkt trotz des Auftretens von Anomalien verwendet, besteht die Gefahr von Brand oder Stromschlag.
- Bei Auftreten von Donner entfernen Sie zur Sicherheit den Stecker aus der Steckdose und vermeiden es, das Antennenkabel oder den Stecker zu berühren. Ansonsten besteht die Gefahr von Brand, Stromschlag oder Produktausfall.

# VORSICHT

- Ziehen Sie den Stecker nicht aus der Steckdose, indem Sie am Kabel ziehen.  
Dies könnte das Kabel beschädigen, wodurch die Gefahr von Brand oder Stromschlag besteht.
- Fassen Sie den Stecker nicht mit feuchten Händen an.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Stromschlag.
- Verlegen Sie das Stromkabel nicht in der Nähe von heißen Geräten.  
Die Kabelisolierung könnte schmelzen, wodurch die Gefahr von Brand oder Stromschlag besteht.
- Führen Sie den Stromkabelstecker in die Steckdose ein, bis die Stifte vollständig eingeführt sind. Wurde der Stecker unvollständig eingeführt, wird Hitze erzeugt und es besteht die Gefahr von Brand, sobald sich Staub ablagert. Außerdem kann ein Berühren der Steckerstifte zu einem Stromschlag führen.
- Schließen Sie das Kabel nicht an einer Steckdose an, in der der Stecker locker ist, selbst nachdem die Steckerstifte vollständig eingeführt wurden. Dies würde Hitze erzeugen und es besteht Brandgefahr. Lassen Sie die Steckdose von einem Elektriker untersuchen.
- Bleibt/Bleiben Staub oder Metallteile an den Steckerstiften haften oder lagern sich diese nahe der Stifte ab, ziehen Sie den Stecker aus der Steckdose und entfernen Sie den Staub oder die Metallteile mit einem trockenen Tuch. Wird der Stecker verwendet, obwohl Staub/Metallteile anhaften, besteht die Gefahr von Brand oder Stromschlag.
- Stellen Sie den Verstärker nicht in einer unstabilen Position auf, wie z. B. auf einem wackeligen Ständer oder auf einer schiefen Platte. Der Verstärker könnte fallen, was zu Verletzungen und Produktausfall führen kann.
- Stellen Sie den Verstärker nicht an einem Ort auf, an dem er Öl- oder Wasserdampf ausgesetzt ist, wie z. B. nahe der Arbeitsfläche der Küche oder nahe einem Befeuchter. Ansonsten besteht die Gefahr von Brand oder Unfällen.
- Stellen Sie den Verstärker nicht an einem Ort auf, an dem er direkt einem kalten Luftstrom ausgesetzt ist.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Kondensierung, Kriechstrom oder Brand.
- Stellen Sie den Verstärker nicht an einem Ort auf, an dem er über einem längeren Zeitraum direktem Sonnenlicht ausgesetzt ist oder nahe von Heizgeräten. Ansonsten kann sich das Gehäuse verformen oder bleichen und es besteht Brandgefahr.
- Stellen Sie den Verstärker nicht an einem extrem kalten Ort auf.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Produktausfall oder Unfällen.
- Stellen Sie den Verstärker nicht in der Nähe einer offenen Flamme auf.  
Ansonsten besteht die Gefahr von Produktausfall oder Unfällen.
- Treten Radiointerferenzen auf, z. B. aufgrund der Nähe eines Tuners, installieren Sie den Tuner und den Verstärker weiter voneinander entfernt.
- Bevor Sie den Verstärker bewegen, schalten Sie zuerst den Strom zu den angeschlossenen Geräten ab und ziehen das Stromkabel, die Anschlusskabel zu jedem Gerät, die Lautsprecherkabel, etc. aus.  
Bewegen Sie den Verstärker mit angeschlossenen Kabeln, könnte ein Kabel beschädigt werden, wodurch die Gefahr von Brand und Stromschlag besteht.
- Bevor Sie das Produkt reinigen/pflegen, schalten Sie unbedingt den Strom ab und ziehen das Stromkabel aus der Steckdose. Ansonsten besteht die Gefahr von Stromschlag oder Verletzungen.
- Wird der Verstärker über einen längeren Zeitraum nicht verwendet, z. B. wenn Sie in den Urlaub fahren, schalten Sie zur Sicherheit den Strom ab und ziehen das Stromkabel aus der Steckdose.  
Ansonsten besteht Brandgefahr.
- Bevor Sie einen Fernseher oder ein anderes Audiogerät anschließen, schalten Sie unbedingt den Strom ab, lesen die Bedienungsanleitungen der jeweiligen Geräte aufmerksam durch und nehmen die Anschlüsse entsprechend den Anweisungen in diesen Bedienungsanleitungen vor.
- Bevor Sie den Strom einschalten, überprüfen Sie, ob die Lautstärken des Subwoofers und des Verstärkers auf dem Mindestwert stehen.  
Ansonsten können plötzliche extrem laute Geräusche auftreten, wodurch Hörschäden oder andere Probleme entstehen können.
- Hören Sie einen unnatürlichen Ton, während das Audiogerät bei hoher Lautstärke in Betrieb ist, verringern Sie die Lautstärke.  
Verwenden Sie den Verstärker weiterhin bei hoher Lautstärke oder über einen längeren Zeitraum, während ein verzerrter Ton produziert wird, erhitzt sich der Lautsprecher und es besteht Brandgefahr.

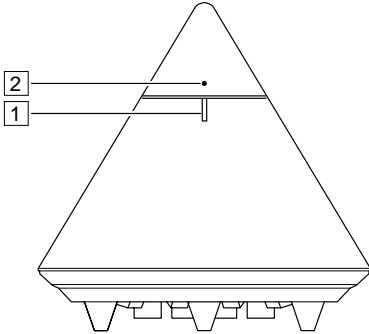


# Vorsichtsmaßnahmen für den Betrieb

- Bevor Sie den Strom einschalten, und bevor Sie Eingänge wechseln, stellen Sie die Lautstärke stets auf den Mindestwert.  
Eine plötzliche starke Ausgabe könnte das angeschlossene Lautsprechersystem beschädigen.
- Je nach Standort könnte Ihr Hörvergnügen andere Personen belästigen. Bitte stellen Sie die Lautstärke auf ein angebrachtes Niveau, sodass Sie die Nachbarn nicht stören.  
Besonders in der Nacht kann auch ein Sound von geringer Lautstärke über weite Entfernungen hörbar sein.  
Bitte respektieren Sie die Anliegen Ihrer Mitmenschen, um ein angenehmes Lebensumfeld aufrechtzuerhalten.
- Vergewissern Sie sich, dass die Stromversorgung aller Geräte abgeschaltet ist, bevor Sie den Lautsprecher anschließen.  
Wird das Lautsprecherkabel unabsichtlich kurzgeschlossen, wird der Schutzkreis im Verstärker aktiviert, was zu einer vorübergehenden Unterbrechung der Tonausgabe führt.  
Ziehen Sie in diesem Fall den Stecker des Stromkabels vorübergehend aus der Steckdose, beheben Sie den Kurzschluss und stecken Sie den Stecker wieder ein, um den Verstärker zu verwenden.  
Die negative Seite des Verstärkerausgangs ist nicht geerdet. Achten Sie darauf, diese nicht mit der negativen Seite anderer Geräte unter Verwendung des Lautsprecherwahlschalters zu verbinden.
- Ist der Verstärker verschmutzt, reinigen Sie ihn mit einem weichen Tuch und mit neutralem Reinigungsmittel.  
Verwenden Sie keine Verdünner oder Benzol.

# Namen und Funktionen der Teile

## ■Haupteinheit



### 1 Stromanzeige

Sie leuchtet, wenn die Stromversorgung eingeschaltet ist.

### 2 Drehknopf für Stromversorgung und Lautstärkeregelung

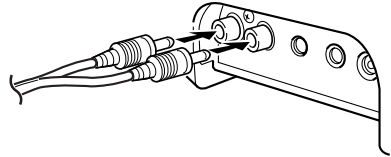
Dieser Drehknopf schaltet die Stromversorgung ein oder aus und regelt die Lautstärke. Drehen Sie diesen Knopf nach rechts, wird die Stromversorgung eingeschaltet (Klickgeräusch) und die Lautstärke gesteigert. Drehen Sie den Knopf nach links, wird die Lautstärke reduziert und schließlich die Stromversorgung abgeschaltet (Klickgeräusch).

\* Beim Anschluss an einen tragbaren CD-Player, an den Kopfhörereingang eines PCs oder an ein anderes Gerät, regeln Sie die Lautstärke entsprechend am Gerät bzw. PC.

### 3 Cinch-Eingangsanschluss (LINE 1)

Schließen Sie die Geräte mit dem Cinchkabel an.

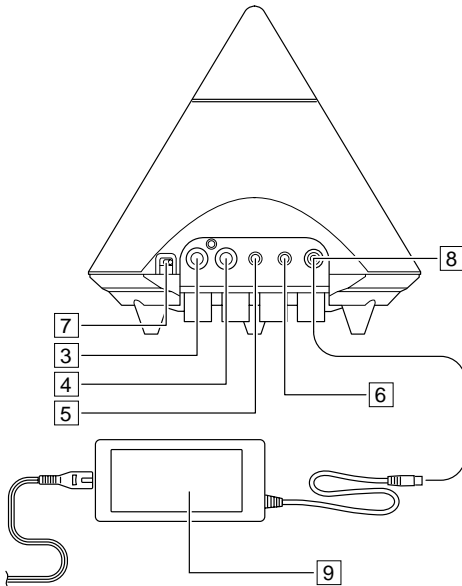
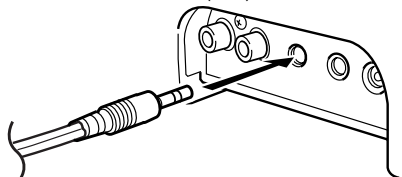
\* Beim Anschluss an einen tragbaren CD-Player oder an den Kopfhörereingang eines PCs, verwenden Sie das beiliegende Kabel für die Verbindung von Cinch und Stereo-Mini-Jack (1/8").

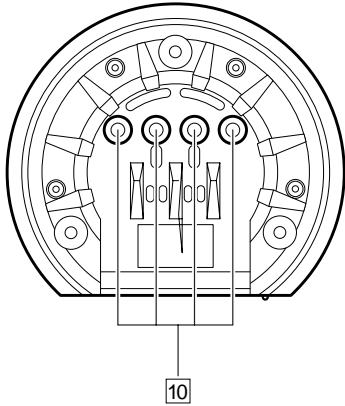


### 5 Eingangsanschluss für Stereo-Mini-Jack (1/8") (LINE 2)

Schließen Sie die Geräte mit dem Stereo-Mini-Kabel (1/8") an.

\* Beim Anschluss an einen tragbaren CD-Player oder an den Kopfhörereingang eines PCs, verwenden Sie das beiliegende Kabel für die Verbindung von Stereo-Mini-Jack (1/8") und Stereo-Mini-Jack (1/8").





**4 Ausgangsanschluss für Stereo-Mini-Jack (1/8")**

Dies ist der Anschluss für die Ausgabe von Signalen vom Verstärker zum Subwoofer. Die Lautstärke ändert sich gemäß der Betätigung des Drehknopfs für die Lautstärkeregelung am Verstärker.

\* Das Gerät verfügt nicht über die Tiefpassfilterfunktion. Nehmen Sie die Regelung am Subwoofer vor.

\* Wird dieser Anschluss verwendet, wird die Bypassfilterfunktion auf den Lautsprecher Ausgang angewendet. (Grenzfrequenz: 80Hz)

**5 Wahlschalter für Eingang**

Mit diesem Schalter werden die Eingänge für den Verstärker gewählt.

Linke Seite: Cincheingang (LINE 1)

Rechte Seite: (5) Eingang für Stereo-Mini-Jack (1/8") (LINE 2)

**6 Stromversorgungsanschluss**

Hier erfolgt der Anschluss an die Stromquelle.

\* Verwenden Sie niemals und unter keinen Umständen einen anderen Wechselstromadapter als den beigegeführten.

Ansonsten könnte es zu Funktionsstörungen und zu einem Brand kommen.

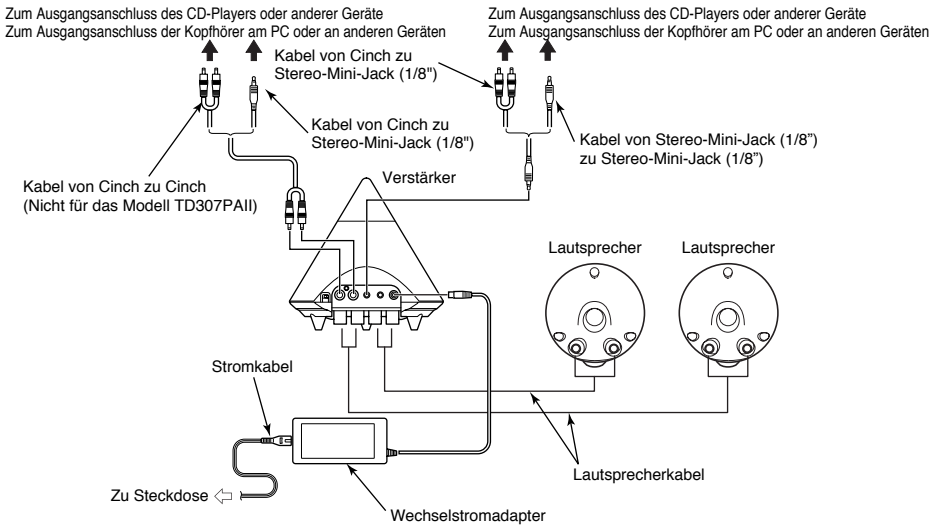
**7 Wechselstromadapter**

**8 Lautsprecheranschlüsse**

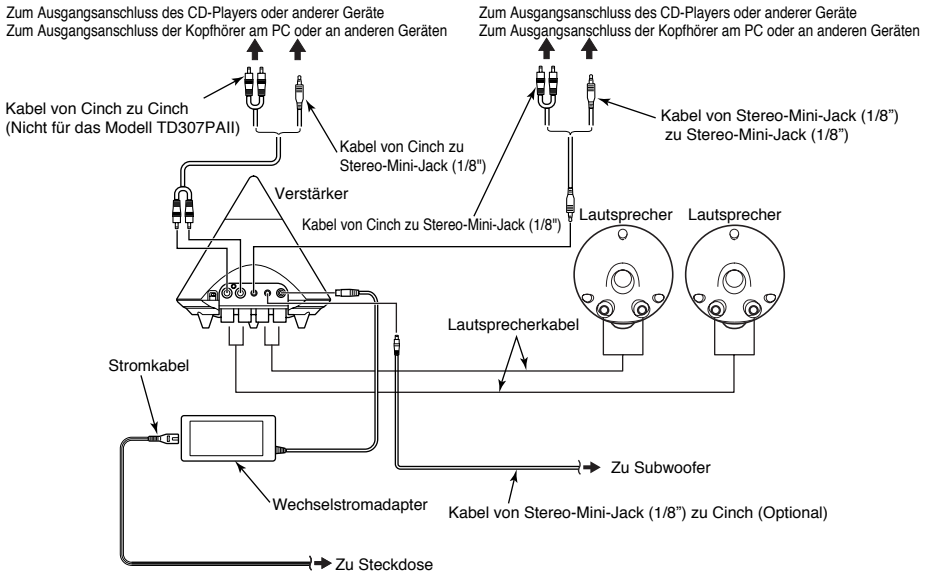
Achten Sie beim Anschluss darauf, nicht das Ende der Leitungsschnur des Lautsprechers neben dem Anschluss zu berühren.

# Anschlussbeispiel

## ■Abspielgerät + Verstärker + Lautsprecher



## ■Abspielgerät + Verstärker + Lautsprecher + Subwoofer



# Pflege und technische Daten

## ■Pflege

Bevor Sie den Verstärker reinigen, schalten Sie unbedingt die Stromversorgung ab und ziehen den Stecker des Stromkabels aus der Steckdose.

Entfernen Sie Schmutz am Verstärker, indem Sie ihn vorsichtig mit einem weichen Tuch abwischen.

Ist die Verschmutzung stark, befeuchten Sie das Tuch mit Wasser, wringen es gut aus, wischen den Schmutz weg und wischen mit einem trockenen Tuch nach.

Reinigen Sie den Verstärker nicht mit Benzol oder Verdünnungsmittel.

Dadurch könnte das Gehäuse beschädigt werden.



## ■Wenn der Verstärker Fehlfunktionen aufweist

Ist der Verstärker während des Gebrauchs starkem externem Rauschen ausgesetzt (anormale Stromspannung aufgrund eines übermäßigem Stoßes, statischer Elektrizität oder eines Blitzschlages) oder wird er falsch bedient, kann er fehlerhaft funktionieren.

Tritt dies auf, schalten Sie die Taste POWER aus.

Überprüfen Sie bei Wiedereinschaltung der Stromversorgung, ob der Betrieb normal funktioniert.

(Bleiben die Fehlfunktionen bestehen, kontaktieren Sie bitte Fujitsu Ten.)

### Hinweis zur WEEE-Richtlinie

Gemäß der WEEE-Richtlinie muss dieses Produkt bei Verkauf in EU-Mitgliedsstaaten nach dem 13. August 2005 zwingend die WEEE-Kennzeichnung tragen.

Wird dieses Produkt innerhalb eines EU-

Mitgliedsstaates entsorgt, sind die Gesetze des jeweiligen Landes einzuhalten, die z. B. die Rückgabe des Produkts an den Hersteller vorsehen.

WEEE : Elektro- und Elektronik-Altgeräte.

## ■Technische Daten

Bitte beachten Sie, dass die technischen Daten und die äußere Erscheinung des Verstärkers ohne Vorankündigung aufgrund von Verbesserungen geändert werden können.

[Verstärker]

Nennleistung :12 W

(Last 8  $\Omega$ , THD: bei 1%)

Max. Ausgabe :15 W

(Last 8  $\Omega$ , THD: bei 10%)

Ausgangstyp :BLT-Ausgang

Gesamtklirrfaktor in der Hochfrequenz:  
0,05% (bei 1 W Ausgabe: 1 kHz)

Frequenzeigenschaften :

10 Hz bis 100 kHz (+/-3 dB)

Eingangsempfindlichkeit :180 mVrms  
(bei 12 W Ausgabe)

Signal-Rausch-Verhältnis :  
85 dB

Trennungsgrad : 50 dB

Eingangsimpedanz :10 k $\Omega$

Kompatible Lastimpedanz :8  $\Omega$

Außenabmessungen :

159 x 137 x 154 (mm)

Gewicht : 930 g

[Wechselstromadapter]

Eingangsspannung:

100VAC (Japan)

120 VAC (Nordamerika)

230 VAC (Europa)

Ausgangsspannung: +17 VDC

Ausgangsstromstärke: 2,9 ADC

Außenabmessungen:

121 x 56 x 33 (mm)

Gewicht: 360 g

# Garantie und Kundendienst

## ■ Garantie (beigefügt)

Lesen Sie die Garantie sorgfältig durch und bewahren Sie sie an einem sicheren Ort auf.

Garantiedauer

Die Garantie gilt für ein Jahr ab Verkaufsdatum.

Beachten Sie, dass auch während der Garantiezeit Kosten entstehen können: Lesen Sie die Garantie sorgfältig durch.

## ■ Mindestaufbewahrungszeit der Leistungsteile für Reparaturen

Die Mindestaufbewahrungszeit der Leistungsteile für Reparaturen beträgt für dieses Produkt acht Jahre nach Herstellungsbearbeitung.

Diese Dauer entspricht den MITI-Richtlinien.

"Leistungsteile für Reparaturen" sind die Ersatzteile, die zur Aufrechterhaltung der Produktleistung notwendig sind.

## ■ Bei Rückfragen zu Reparaturen oder anderen Fragen:

Die jeweiligen Kontakte finden Sie unter "Fujitsu Ten ECLIPSE TD-Informationen".

### Eclipse TD (UK) Ltd

Tel : +44 (0)20 7328 4499

Fax : +44 (0)20 7624 6384

mailto : info@eclipse-td.co.uk

## ■ Wenn Reparaturen notwendig sind


[Innerhalb der Garantie]

Bitte legen Sie bei Reparaturanfragen das Garantiezertifikat vor.

Wir reparieren das Produkt entsprechend den Bestimmungen auf der Garantie.

[Nachdem die Garantie abgelaufen ist]

Kann das Produkt mithilfe von Reparaturen wieder funktionstüchtig gemacht werden, nehmen wir die Reparaturen gegen Verrechnung vor.

	Kontrollieren Sie Ihr Audiogerät, um eine lange Laufzeit zu gewährleisten!	
<b>Überprüfungen</b> 	Haben Sie eines dieser Symptome festgestellt?	<ul style="list-style-type: none"><li>● Das Stromkabel oder der Stecker ist ungewöhnlich heiß.</li><li>● Es ist ein Brandgeruch wahrzunehmen.</li><li>● Im Stromkabel ist ein tiefer Einschnitt sichtbar oder das Kabel hat sich verformt.</li><li>● Andere Anomalien oder Fehlfunktionen</li></ul>

### Stoppen Sie den Betrieb des Produkts.

Um einen Produktausfall oder Unfälle zu vermeiden, schalten Sie den Strom ab, ziehen das Stromkabel aus der Steckdose und lassen unbedingt eine Kontrolle durchführen. Für Einzelheiten zu den Kosten für Kontrollen und Reparaturen kontaktieren Sie bitte Fujitsu Ten.

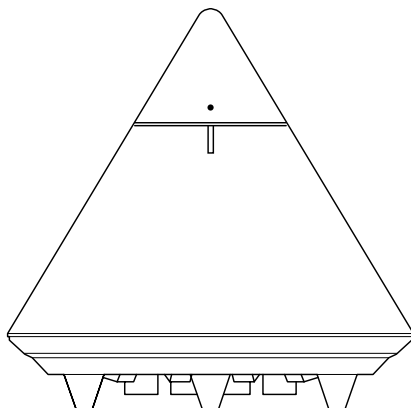


Amplificateur **TDA501II**

Amplificateur pour modèle **TD307PAII**

Amplificateur pour modèle **TD508PAII**

# MANUEL D'UTILISATION DE L'AMPLIFICATEUR



Nous vous remercions d'avoir choisi notre amplificateur.

Lisez attentivement ce manuel afin d'utiliser le produit de manière appropriée.

Avant la première utilisation, consultez la rubrique intitulée « Pour une utilisation sûre et correcte de l'amplificateur ».

Conservez soigneusement le manuel et la garantie dans un endroit facilement accessible.

 **FUJITSU TEN**

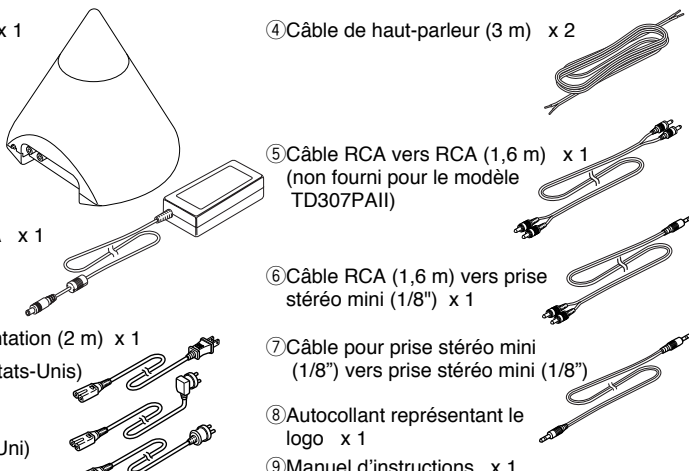
# Sommaire

## ■ Sommaire

Introduction.....	32
Pour une utilisation sûre et correcte de l'amplificateur.....	33
Remarques concernant l'utilisation.....	35
Nom et fonction des pièces.....	36
Exemple de branchement.....	38
Entretien et caractéristiques.....	39
Garantie et service après-vente.....	40

# Introduction

## ■ Eléments contenus dans l'emballage

- ① Amplificateur x 1
  - ② Adaptateur CA x 1
  - ③ Câble d'alimentation (2 m) x 1  
(Japon et Etats-Unis)  
(Royaume-Uni)  
(Europe)
  - ④ Câble de haut-parleur (3 m) x 2
  - ⑤ Câble RCA vers RCA (1,6 m) x 1  
(non fourni pour le modèle TD307PAII)
  - ⑥ Câble RCA (1,6 m) vers prise stéréo mini (1/8") x 1
  - ⑦ Câble pour prise stéréo mini (1/8") vers prise stéréo mini (1/8")
  - ⑧ Autocollant représentant le logo x 1
  - ⑨ Manuel d'instructions x 1
  - ⑩ Garantie
- 

Cet amplificateur s'appuie sur la théorie du domaine temporel afin d'optimiser les capacités du haut-parleur.

### <<Qu'est-ce que la théorie du domaine temporel ?>>

La théorie du domaine temporel permet de restituer avec exactitude les variations temporelles entre l'apparition et la disparition des ondes sonores afin de reproduire aussi fidèlement que possible les ondes associées aux sons originaux.


« Les systèmes audio en domaine temporel » faisant appel à cette théorie permettent d'obtenir une reproduction plus fidèle de l'orientation des sons et des nuances sonores subtiles apportées par l'interprète.




# Pour une utilisation sûre et correcte de l'amplificateur

## ■ Instructions avant utilisation

Afin de garantir que ce produit est utilisé de manière correcte et sûre et d'éviter tout dommage corporel ou matériel, les instructions ci-dessous figurent à la fois dans le manuel et sur le produit lui-même. Assurez-vous de comprendre parfaitement ces indications avant de commencer à lire le reste du manuel.

 **AVERTISSEMENT** tout non-respect des présentes instructions ou toute manipulation inappropriée du produit risque d'entraîner de graves blessures, voire la mort.

 **ATTENTION** tout non-respect des présentes instructions ou toute manipulation inappropriée du produit risque d'entraîner de graves dommages corporels ou matériels.

## **AVERTISSEMENT**

- Branchez toujours votre appareil sur une prise fournissant uniquement la tension indiquée sur ce dernier. Tout branchement non conforme risque de provoquer un incendie ou de se traduire par un choc électrique ou un dysfonctionnement de l'appareil.
- Ne tentez jamais d'ouvrir le boîtier de l'amplificateur. Vous risqueriez de vous électrocuter ou de vous blesser. Si des contrôles, réglages ou réparations se révèlent nécessaires, contactez un représentant Fujitsu Ten. Ne modifiez jamais le produit de quelque manière que ce soit. Vous risqueriez de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- N'utilisez jamais l'amplificateur dans une salle de bain ou dans tout autre lieu humide ou exposé aux intempéries. Vous risqueriez de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Ne placez pas de récipients contenant de l'eau ou des produits pharmaceutiques ou chimiques (ex. : vase, tasse, etc.) sur l'amplificateur ou à proximité de celui-ci. Si de l'eau ou des corps étrangers pénétraient à l'intérieur, vous vous exposeriez à un risque d'incendie ou de choc électrique.
- Utilisez uniquement le câble d'alimentation fourni avec ce produit. Dans le cas contraire, vous risqueriez de provoquer un incendie ou un autre accident.
- Veillez à ne pas endommager le câble en le pliant, le tordant, le modifiant de quelque manière que ce soit ou encore en le coinçant sous l'amplificateur. Evitez également de poser des objets lourds sur le câble d'alimentation, de l'exposer à une source de chaleur excessive ou de tirer dessus ; vous risqueriez en effet de le rompre, de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Ne branchez pas un trop grand nombre d'appareils sur la même prise. Celle-ci risquerait en effet de surchauffer et de provoquer un incendie.
- Si vous constatez que le câble d'alimentation est endommagé (ex. : fils électriques dénudés ou rompus), remplacez-le. Si vous persistez à utiliser le câble alors que celui-ci est endommagé, vous risquez de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- En cas de constats inhabituels (ex. : bruits anormaux, surchauffe de la prise ou du câble, dégagement de fumée, odeur désagréable, etc.), éteignez immédiatement l'appareil, débranchez le câble de la prise murale et demandez qu'un contrôle soit effectué. Si vous persistez à utiliser le produit alors que celui-ci fonctionne de façon anormale, vous risquez de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Si vous faites tomber ou si vous cassez l'amplificateur, éteignez-le en utilisant le bouton Marche/Arrêt de l'appareil, débranchez la prise (POWER) et contactez un représentant Fujitsu Ten. Si vous persistez à utiliser l'amplificateur alors que celui-ci est endommagé, vous risquez de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- En cas d'orage, débranchez l'appareil de la prise murale et évitez tout contact avec le câble de l'antenne et la prise. En cas d'impact de foudre, vous vous exposez à un risque d'électrocution, d'incendie ou de dysfonctionnement de l'appareil.

# ATTENTION

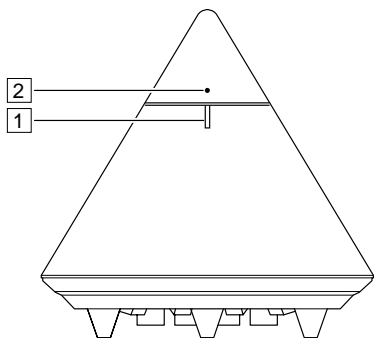
- Ne tirez jamais sur le câble lui-même lorsque vous souhaitez le débrancher d'une prise murale. Vous risqueriez d'endommager le câble, de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Ne branchez et ne débranchez jamais une prise les mains mouillées.  
Vous risquez de vous électrocuter.
- N'exposez jamais le câble à une source de chaleur élevée.  
Vous risqueriez de faire fondre la gaine isolante, de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Branchez le câble d'alimentation dans la prise murale en veillant à insérer complètement les broches. Si les broches ne sont pas insérées correctement dans la prise murale, celles-ci risquent de surchauffer et de provoquer un incendie lorsque de la poussière s'y sera accumulée. Vous risquez en outre de vous électrocuter en cas de contact avec les broches.
- Ne branchez pas le câble sur une prise murale mal fixée, même en insérant les broches complètement. La chaleur qui s'en dégage risquerait de provoquer un incendie. Dans une telle situation, faites examiner la prise par un électricien.
- Si de la poussière ou des traces de saleté adhèrent aux broches ou à proximité de celles-ci, débranchez la prise et nettoyez-la à l'aide d'un chiffon sec. Si vous persistez à utiliser la prise dans cet état, vous risquez de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Ne posez pas l'amplificateur sur une surface instable ou située en hauteur, comme un meuble bancal ou une surface inclinée. L'appareil risquerait de tomber et de provoquer des dommages physiques et matériels.
- Ne placez pas l'amplificateur dans un endroit exposé à de la fumée grasse ou de la vapeur d'eau (ex. : près d'une table de cuisine ou d'un humidificateur). Vous risqueriez de provoquer un incendie ou un autre accident.
- Ne placez pas l'amplificateur dans un endroit exposé aux courants d'air.  
De la condensation risquerait de se former et de provoquer des fuites ou un incendie.
- Ne placez pas l'amplificateur dans un endroit exposé de façon prolongée à la lumière directe du soleil ou près d'un appareil de chauffage. Le boîtier risquerait de se déformer, de se décolorer ou de prendre feu.
- Ne placez pas l'amplificateur dans un endroit où la température est particulièrement basse.  
Vous risqueriez de l'endommager ou de provoquer un accident.
- Ne placez pas l'appareil à proximité d'une flamme.  
Vous risqueriez de l'endommager ou de provoquer un accident.
- Si l'amplificateur est placé trop près d'un autre appareil électrique (ex. : syntoniseur), des interférences risquent de se produire ; dans ce cas, éloignez l'amplificateur de l'appareil en question.
- Avant de déplacer l'amplificateur, éteignez tous les appareils auxquels celui-ci est relié et débranchez le câble d'alimentation et les câbles le reliant aux autres appareils (ex. : câbles du haut-parleur).  
Si vous déplacez l'amplificateur sans avoir au préalable débranché les câbles annexes, vous risquez d'endommager ces derniers, de provoquer un incendie ou de vous électrocuter.
- Avant d'effectuer des opérations de nettoyage ou d'entretien sur l'amplificateur, éteignez l'appareil et retirez le câble d'alimentation de la prise murale. Vous éviterez ainsi tout risque d'électrocution ou d'accidents corporels.
- Si vous prévoyez de ne pas utiliser l'amplificateur pendant une période prolongée (ex. : avant un départ en vacances), éteignez toujours l'appareil et débranchez-le de la prise murale par mesure de sécurité.  
Vous éviterez ainsi tout risque d'incendie.
- Avant de connecter un téléviseur ou tout autre appareil à l'amplificateur, mettez-les tous hors tension, lisez attentivement chaque manuel d'utilisation et effectuez les branchements conformément aux instructions.
- Avant la mise sous tension, assurez-vous que les volumes sonores du caisson de basses et de l'amplificateur sont réglés sur le niveau le plus bas.  
Dans le cas contraire, les haut-parleurs risquent d'émettre un son extrêmement puissant pouvant entre autre générer de graves troubles auditifs.
- Si vous constatez des bruits anormaux lorsque le volume sonore de l'appareil est élevé, diminuez l'intensité de celui-ci.  
Si vous persistez à utiliser l'appareil à un volume élevé et que le son produit est déformé, le haut-parleur risque de surchauffer et de s'enflammer.

# Remarques concernant l'utilisation

- Avant de mettre l'appareil sous tension et d'activer les entrées, assurez-vous toujours que le volume sonore est réglé au minimum.  
Une sortie de son trop élevée risquerait d'endommager le haut-parleur.
- En fonction de l'endroit où vous vous trouvez, vous risquez de déranger votre voisinage si le volume est trop élevé. Pour éviter ce genre de situation, réglez le volume sonore à un niveau d'écoute raisonnable.  
La nuit, même un son très faible peut se propager relativement loin.  
Il est important de respecter le cadre de vie de chacun.
- Assurez-vous d'avoir éteint tous les appareils avant de brancher le haut-parleur.  
En cas de court-circuit accidentel du câble du haut-parleur, le circuit de protection de l'amplificateur est automatiquement activé et interrompt temporairement la sortie vocale.  
Si une telle situation se produit, débranchez provisoirement le câble d'alimentation de sa prise, corrigez le court-circuit, puis rebranchez la prise afin de pouvoir utiliser l'amplificateur.  
La borne négative de la sortie de l'amplificateur n'est pas reliée à la terre. Ne la connectez jamais à la borne négative d'autres appareils à l'aide, par exemple, du sélecteur du haut-parleur.
- Pour nettoyer l'amplificateur, frottez-le doucement avec un chiffon doux imprégné d'un peu de produit de nettoyage neutre.  
N'utilisez jamais de dissolvants ou de benzène.

# Nom et fonction des pièces

## ■ Corps de l'appareil



### 1 Témoin d'alimentation

S'allume lorsque l'appareil est mis sous tension (ON).

### 2 Commutateur d'alimentation avec fonction de réglage du volume

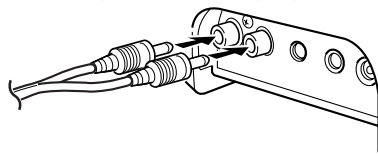
Permet à la fois de mettre ou de couper l'alimentation (ON/OFF) et de régler le volume sonore. Tourner le bouton vers la droite permet dans un premier temps d'allumer l'appareil (celui-ci émet un petit clic), puis d'augmenter progressivement le volume sonore. A l'inverse, tourner le bouton vers la gauche permet de diminuer peu à peu le volume sonore et enfin de couper (OFF) l'alimentation (nouveau clic).

\* Si vous branchez un appareil de lecture (ex. : lecteur CD) ou encore des écouteurs d'ordinateur, le volume sonore se règle à partir de l'appareil de lecture en question.

### 3 Borne de l'entrée haut niveau RCA (LINE 1)

Reliez les appareils entre eux à l'aide du câble RCA.

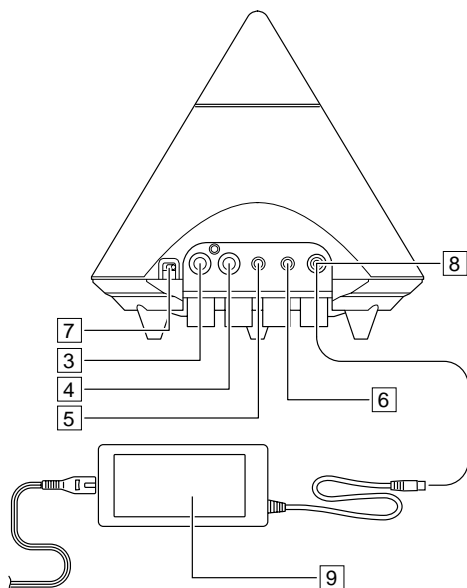
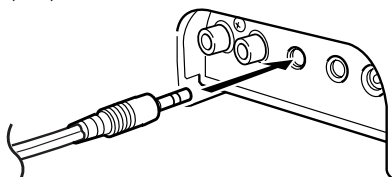
\* Lorsque vous branchez par exemple un appareil de lecture (ex. : lecteur CD) ou encore des écouteurs d'ordinateur, utilisez le câble RCA vers prise stéréo mini (1/8") fourni.

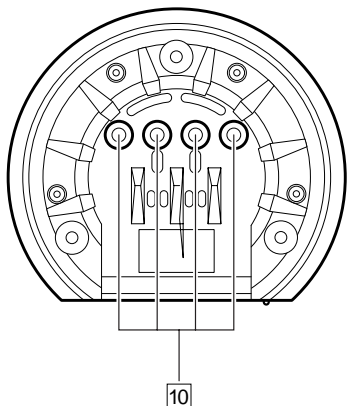


### 5 Borne d'entrée haut niveau (LINE 2) de la prise stéréo mini (1/8")

Connectez les appareils à l'aide du câble stéréo mini (1/8").

\* Lorsque vous branchez par exemple un appareil de lecture (ex. : lecteur CD) ou encore des écouteurs d'ordinateur, utilisez le câble prise stéréo mini (1/8") vers prise stéréo mini (1/8") fourni.





**4 Borne de sortie haut niveau de la prise stéréo mini (1/8")**

Cette borne permet de transmettre les signaux de sortie de l'amplificateur au caisson de basses. L'intensité sonore varie en fonction du réglage effectué à l'aide du bouton de volume de l'amplificateur.

\* Le produit n'est pas équipé de la fonction de filtre passe-bas. Pour ce faire, il vous faudra passer par le caisson de basses.

\* Si la connexion est faite sur cette borne, la fonction de filtre passe-bas s'applique également à la sortie du haut-parleur. (fréquence de coupure : 80 Hz)

**5 Commutateur d'entrée haut niveau**

Ce commutateur permet de sélectionner les entrées haut niveau de l'amplificateur.

Côté gauche : entrée haut niveau RCA (LINE 1)

Côté droit : Entrée haut niveau (LINE 2) de la prise stéréo mini (1/8")

**6 Borne d'alimentation**

Permet de relier l'appareil à l'alimentation.

\* Utilisez uniquement l'adaptateur CA fourni avec ce produit.

Vous éviterez ainsi tout risque de dysfonctionnement ou d'incendie.

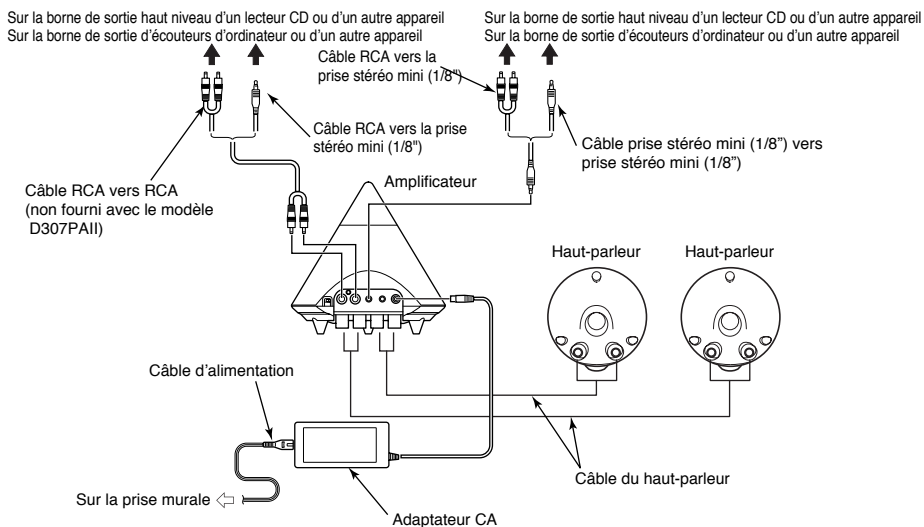
**7 Adaptateur CA**

**8 Bornes de sortie du haut-parleur**

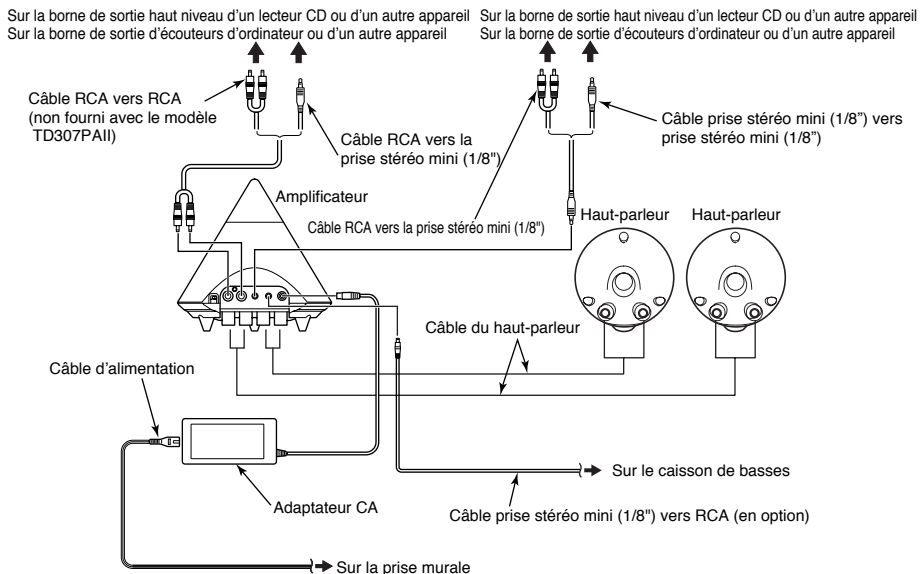
Au moment du branchement, veillez à ce que l'extrémité du câble du haut-parleur n'entre pas en contact avec la borne adjacente.

# Exemple de branchement

## ■ Lecteur + amplificateur + haut-parleur



## ■ Lecteur + amplificateur + haut-parleur + caisson de basses



# Entretien et caractéristiques

## ■ Entretien

Avant de procéder à une opération d'entretien de votre amplificateur, éteignez ce dernier (OFF) et retirez le câble d'alimentation de la prise murale.

Retirez les traces éventuelles de salissure en frottant légèrement la surface à l'aide d'un chiffon doux.

En cas de saleté tenace, imbibez le chiffon d'eau, essorez-le bien, nettoyez l'appareil, puis essuyez le tout avec un chiffon sec.

N'utilisez jamais de benzène ou de solvant.

Vous risqueriez d'endommager la surface du boîtier.



## ■ En cas de dysfonctionnement de l'amplificateur

Si l'amplificateur émet un son strident en cours d'utilisation (tension anormale résultant d'un choc violent, d'un phénomène d'électricité statique ou d'un impact de foudre) ou s'il est manipulé de manière inappropriée, un dysfonctionnement peut survenir.

Si une situation de ce genre survient, éteignez l'appareil (OFF).

Remettez-le ensuite sous tension et vérifiez qu'il fonctionne correctement.

(si le problème persiste, contactez un représentant Fujitsu Ten).

## Observación acerca de la directiva sobre RAEE

En cumplimiento de la directiva RAEE sobre residuos de aparatos eléctricos y electrónicos, si tras la fecha del 13 de agosto de 2005 se comercializa este producto en cualquiera de los Estados miembros de la UE, éste deberá portar obligatoriamente el símbolo que distingue a aquellos productos cuya eliminación se efectúa siguiendo el proceso de eliminación RAEE.

En caso de que se deshaga de este producto en cualquiera de los Estados miembros de la UE, hágalo en concordancia con la legislación vigente en dicho país, por ejemplo, devolviendo el mismo al distribuidor.

RAEE : Residuos de Aparatos Eléctricos y Electrónicos.

## ■ Caractéristiques

Remarque : dans l'optique d'y apporter des améliorations, les caractéristiques et l'aspect externe de l'amplificateur sont susceptibles d'être modifiés sans préavis.

[Amplificateur]

Puissance de sortie nominale : 12 W

(chargement 8  $\Omega$ , THD : 1 %)

Puissance de sortie maximale : 15 W

(chargement 8  $\Omega$ , THD : 10%)

Type de sortie : BLT

Valeur totale de distorsion de haute fréquence :  
0,05 % (sortie de 1 W : 1 kHz)

Courbe de réponse en fréquence :  
10 Hz à 100 kHz (+/-3 dB)

Sensibilité d'entrée : 180 mVrms  
(sortie de 12 W)

Rapport signal sur bruit : 85 dB

Degré de séparation : 50 dB

Impédance d'entrée : 10 k $\Omega$

Impédance de charge compatible : 8  $\Omega$

Dimensions extérieures :

L 159 x P 137 x H 154 (mm)

Poids : 930 g

[Adaptateur CA]

Tension d'entrée :

100 VCA (Japon)

120 VCA (Amérique du Nord)

230 VCA (Europe)

Tensione di uscita: +17 VCC

Courant de sortie : 2,9 ADC

Dimensions extérieures :

l 121 x P 56 x H 33 (mm)

Poids : 360 g

# Garantie et service après-vente

## ■ Garantie (en annexe)

Lisez attentivement les conditions de garantie et conservez-les soigneusement dans un endroit sûr.

Durée de la garantie

La durée de la garantie est de un (1) an à compter de la date d'achat.

Remarque : certains frais pourront être facturés même au cours de la période de la garantie (lisez attentivement la garantie).

## ■ Durée de conservation minimale des pièces fonctionnelles à réparer

La durée de conservation minimale des pièces fonctionnelles à réparer de ce produit est de 8 ans après l'arrêt de la fabrication.

La durée a été établie conformément aux instructions MITI.

Les « Pièces fonctionnelles à réparer » sont les pièces indispensables au bon fonctionnement de l'appareil.

## ■ Pour obtenir plus de renseignements sur la réparation ou sur tout autre sujet :

Contactez le service d'informations « Fujitsu Ten ECLIPSE TD information » à l'aide des coordonnées ci-dessous.

### Eclipse TD (UK) Ltd

Tel : +44 (0)20 7328 4499

Fax : +44 (0)20 7624 6384

mailto : [info@eclipse-td.co.uk](mailto:info@eclipse-td.co.uk)

## ■ Si des réparations sont nécessaires


[Pendant la période de garantie]

Veuillez joindre le certificat de garantie à votre demande de réparation.

Nous effectuerons les réparations conformément aux conditions stipulées dans la garantie.

[Une fois la période de garantie écoulée]

Si le produit peut être réparé, les réparations seront effectuées à vos frais.

 Contrôle d'entretien	Contrôlez régulièrement le bon fonctionnement de votre appareil afin de le conserver le plus longtemps possible!
	<p>Si l'une des situations suivantes se produit,</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Surchauffe au niveau du câble d'alimentation ou de la prise</li><li>● Odeur de brûlé</li><li>● Profonde entaille ou déformation au niveau du câble d'alimentation</li><li>● Autres situations anormales ou dysfonctionnements</li></ul>

### N'UTILISEZ PLUS LE PRODUIT

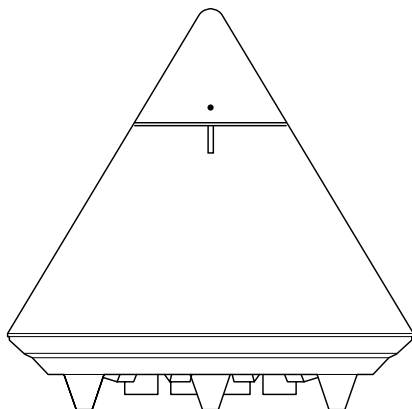
Afin d'éviter tout dysfonctionnement ou accident, éteignez l'appareil, débranchez le câble de la prise murale et demandez qu'un contrôle soit effectué. Pour obtenir plus de détails sur le coût des contrôles et des réparations, contactez un représentant Fujitsu Ten.





Amplificatore **TDA501II**  
Amplificatore per **TD307PAII**  
Amplificatore per **TD508PAII**

## MANUALE D'USO DELL'AMPLIFICATORE



Grazie per aver acquistato il nostro amplificatore.

Si prega di leggere attentamente il manuale di istruzioni e di utilizzare correttamente il prodotto.

Prima dell'uso, leggere "Utilizzo corretto e sicuro dell'amplificatore".

Conservare il presente manuale di istruzioni insieme alla garanzia in un posto in cui possano essere accessibili in qualsiasi momento.

 **FUJITSU TEN**

# Sommario

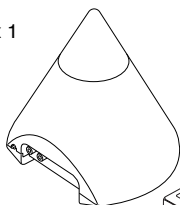
## ■ Sommario

Introduzione .....	42
Utilizzo corretto e sicuro dell'amplificatore .....	43
Precauzioni di utilizzo .....	45
Nome e funzione delle parti .....	46
Esempi di connessione .....	48
Manutenzione e caratteristiche tecniche .....	49
Garanzia e servizio post vendita .....	50

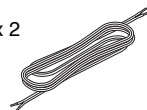
# Introduzione

## ■ Componenti del prodotto

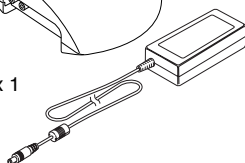
① Amplificatore x 1



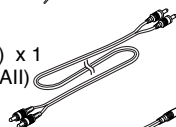
④ Cavo del diffusore (3,0 m) x 2



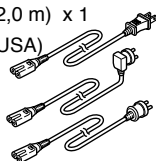
② Adattatore c.a. x 1



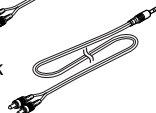
⑤ Cavo RCA - RCA (1,6 m) x 1  
(Non fornito per TD307PAII)



③ Cavo alimentazione (2,0 m) x 1  
(per il Giappone e gli USA)



⑥ Cavo RCA - stereo mini jack  
(1/8") (1,6 m) x 1



(per il Regno Unito)  
(per l'Europa)

⑦ Cavo stereo mini jack (1/8") - stereo  
mini jack (1/8")



⑧ Logo autoadesivo x 1

⑨ Manuale di istruzioni x 1

⑩ Garanzia

Questo amplificatore è stato progettato in base alla logica temporale per ottimizzare le potenzialità del diffusore.

### <<Che cos'è la logica temporale?>>

La logica temporale è stata sviluppata per ricostituire adeguatamente la variazione nel tempo dell'onda sonora dal punto in cui appare al punto in cui scompare, rendendo così la riproduzione del suono il più fedele possibile all'originale.

I "sistemi audio basati sul dominio temporale", che si servono della logica temporale per ottimizzare la riproducibilità delle onde sonore, hanno consentito di riprodurre con maggior fedeltà l'orientamento del suono e le sfumature precise e delicate, impartite alla musica dall'interprete.

# Utilizzo corretto e sicuro dell'amplificatore

## ■ Preliminari

Le indicazioni che seguono sono riportate sia nel presente manuale che sul prodotto stesso, per garantire un utilizzo corretto e sicuro del prodotto e per evitare rischi di danni materiali e lesioni all'utente o ad altre persone. Assicurarsi di avere compreso appieno le informazioni contenute in esse, prima di proseguire nella lettura del manuale.



### AVVERTENZA

Il mancato rispetto di questa indicazione e la manipolazione impropria del prodotto possono condurre a lesioni gravi o morte.



### ATTENZIONE

Il mancato rispetto di questa indicazione e la manipolazione impropria del prodotto possono condurre a lesioni o danni materiali.



## AVVERTENZA

- Non collegare l'apparecchiatura ad una tensione diversa da quella indicata sul prodotto. Ciò potrebbe provocare incendi, scosse elettriche o guasti del prodotto.
- Non aprire la scatola dell'amplificatore. Ciò potrebbe provocare scosse elettriche o lesioni. Per ispezioni interne, regolazioni o riparazioni eventualmente necessarie, si prega di rivolgersi a Fujitsu Ten. Non apportare modifiche al prodotto. Ciò potrebbe provocare scosse elettriche o incendi.
- Non usare l'amplificatore in bagno o in qualsiasi altro luogo in cui potrebbe essere esposto a intemperie o in un ambiente molto umido. Ciò potrebbe provocare scosse elettriche o incendi.
- Non posizionare vasi, portafiori, tazze o altri recipienti contenenti cosmetici, agenti chimici o acqua in prossimità dell'amplificatore. Se dovessero penetrare nell'amplificatore acqua o altro materiale estraneo, ciò potrebbe causare incendi o scosse elettriche.
- Utilizzare esclusivamente il cavo per l'alimentazione fornito insieme al prodotto. L'utilizzo di un cavo diverso potrebbe provocare incendi o incidenti.
- Non danneggiare, piegare, torcere, modificare il cavo per l'alimentazione o schiacciarlo sotto l'amplificatore. Si noti inoltre che se il cavo per l'alimentazione venisse schiacciato da oggetti pesanti, esposto a fonti di calore o tirato eccessivamente, potrebbe rompersi provocando incendi o scosse elettriche.
- Evitare di effettuare troppi collegamenti sulla stessa presa elettrica. Il calore generato dal surriscaldamento potrebbe causare incendi.
- Se il cavo dell'alimentazione risulta danneggiato (fili conduttori messi a nudo o rotti), sostituirlo. L'utilizzo di un cavo danneggiato può provocare incendi o scosse elettriche.
- Se si dovesse constatare una condizione di anomalia, come un rumore insolito, il surriscaldamento della spina o del cavo, la presenza di fumo o di un odore strano, spegnere l'alimentazione, scollegare il cavo dalla presa elettrica e chiedere un'ispezione. L'utilizzo del prodotto nonostante un'anomalia potrebbe provocare incendi o scosse elettriche.
- Se si lascia cadere o si rompe l'amplificatore, spegnerlo, togliere la spina (ALIMENTAZIONE) dalla presa elettrica e contattare Fujitsu Ten. L'utilizzo dell'amplificatore in tale condizione potrebbe provocare incendi o scosse elettriche.
- In caso di temporale, per motivi di sicurezza, togliere immediatamente la spina dalla presa elettrica ed evitare di toccare il cavo dell'antenna o la spina. Il temporale potrebbe provocare incendi, scosse elettriche o guasti del prodotto.

## **ATTENZIONE**

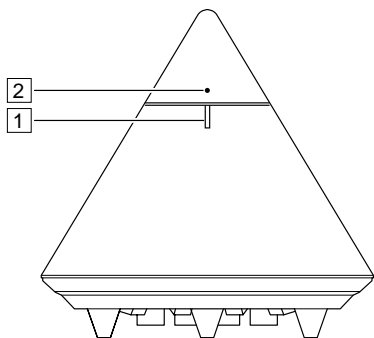
- Non togliere la spina dalla presa elettrica tirando il cavo.  
Ciò potrebbe danneggiarlo, provocando scosse elettriche o incendi.
- Non inserire o estrarre la spina dell'alimentazione con le mani bagnate.  
Ciò potrebbe provocare scosse elettriche.
- Non avvicinare il cavo dell'alimentazione ad apparecchiature calde.  
Il rivestimento isolante del cavo potrebbe fondere, provocando scosse elettriche o incendi.
- Inserire completamente la spina dell'alimentazione nella presa, fino alla base dei contatti. Se non è inserita completamente, potrebbe surriscaldarsi e il calore generato potrebbe provocare incendi al contatto con la polvere accumulatasi. Inoltre, chiunque toccasse la spina rischierebbe di subire una scossa elettrica.
- Non collegare l'apparecchiatura ad una presa elettrica in cui la spina rimanga allentata, sebbene inserita completamente fino alla base dei contatti. Il surriscaldamento generato potrebbe provocare un incendio. Richiedere l'intervento di un elettricista per controllare la presa.
- Se della polvere o del metallo aderiscono ai contatti della spina di alimentazione o in prossimità di essi, disinserire la spina e rimuovere la polvere/il metallo con un panno asciutto. L'utilizzo della spina in presenza di polvere o metallo potrebbe provocare incendi o scosse elettriche.
- Non posizionare l'amplificatore troppo in alto o su un supporto instabile, come un mobile traballante o una superficie inclinata. L'amplificatore potrebbe cadere, con conseguenti lesioni e danni al prodotto.
- Non porre l'amplificatore in un luogo in cui sia esposto a fumo oleoso o vapore acqueo, come nei pressi di una tavola da cucina o di un umidificatore. Ciò potrebbe provocare incendi o incidenti.
- Non collocare l'amplificatore in un luogo direttamente esposto a correnti d'aria fredda.  
Ciò potrebbe generare una condensazione, con conseguenti fughe di corrente o sviluppo di fiamme.
- Non esporre l'amplificatore alla luce diretta del sole per periodi di tempo prolungati e non avvicinarlo ad apparecchiature che emanano calore. Ciò provocherebbe incendi oppure la deformazione o decolorazione della scatola.
- Non posizionare l'amplificatore in luoghi in cui la temperatura sia particolarmente bassa.  
Ciò potrebbe danneggiare il prodotto e provocare incidenti.
- Non avvicinare l'amplificatore a fiamme vive.
- Ciò potrebbe danneggiare il prodotto e provocare incidenti.
- Se si dovesse constatare un'interferenza radio dovuta, ad esempio, alla vicinanza di un sintonizzatore, allontanare quest'ultimo dall'amplificatore.
- Prima di spostare l'amplificatore, spegnere l'alimentazione dei dispositivi ad esso connessi e scollegare il cavo per l'alimentazione, i cavi di connessione di ciascun dispositivo, i cavi del diffusore e così via.  
Se si sposta l'amplificatore mantenendo i cavi collegati, uno di essi potrebbe danneggiarsi, provocando un incendio o una scossa elettrica.
- Prima della pulizia/manutenzione del prodotto, assicurarsi di averlo spento e di aver disinserito la spina del cavo per l'alimentazione dalla presa elettrica. Pericolo di scossa elettrica o lesioni.
- Se l'amplificatore non viene utilizzato per un periodo di tempo prolungato, ad esempio durante una vacanza, per motivi di sicurezza spegnere sempre l'amplificatore e togliere la spina dalla presa elettrica.  
Pericolo di incendio.
- Prima di collegare un televisore o un altro dispositivo audio, assicurarsi di averlo spento, leggere attentamente il manuale di istruzioni del dispositivo in questione ed effettuare i collegamenti seguendo le istruzioni fornite in tali manuali.
- Prima di inserire l'alimentazione, assicurarsi che il volume del subwoofer e dell'amplificatore siano regolati al minimo.  
Altrimenti, il suono di elevata intensità improvvisamente emesso potrebbe causare un deterioramento della capacità uditiva o altri problemi.
- Se si percepisce un suono anomalo quando l'apparecchiatura funziona ad alto volume, abbassare quest'ultimo.  
L'utilizzo prolungato dell'amplificatore a volume elevato o sebbene il suono prodotto sia distorto, provoca un surriscaldamento del diffusore con conseguente pericolo d'incendio.

# Precauzioni di utilizzo

- **l'apparecchiatura e attivare i segnali in entrata, abbassare sempre il volume.**  
Un improvviso segnale in uscita troppo elevato potrebbe danneggiare il sistema di diffusori collegato.
- **In certi luoghi, l'ascolto della musica può infastidire le altre persone. Si prega di regolare il volume ad un livello adeguato per non disturbare i vicini.**  
In particolare durante la notte, anche un suono di bassa intensità sarà sufficiente.  
Si prega di rispettare le esigenze altrui in modo che sia garantito il benessere di tutti.
- **Assicurarsi che tutti i dispositivi siano spenti prima di collegare il diffusore.**  
Un cortocircuito accidentale nel cavo del diffusore attiva il circuito di protezione nell'amplificatore, interrompendo temporaneamente la risposta audio.  
In tali circostanze, togliere provvisoriamente la spina del cavo dell'alimentazione dalla presa elettrica, riparare il guasto e reinserire la spina per servirsi dell'amplificatore.  
Il polo negativo dell'uscita dell'amplificatore non è collegato a terra. Fare attenzione a non collegarlo al polo negativo degli altri dispositivi tramite il selettore di diffusore, o altro.
- **Se l'amplificatore si sporca, strofinare delicatamente con un panno inumidito e un detergente neutro.**

# Nome e funzione delle parti

## ■ Unità principale



### 1 Spia dell'accensione

È accesa quando l'alimentazione è su "ON".

### 2 Interruttore di alimentazione con funzione di regolazione del volume

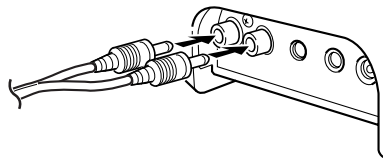
La manopola serve a inserire o disinserire l'alimentazione ("ON"/"OFF") e regolare il volume sonoro. La rotazione della manopola verso destra fino allo scatto permette di accendere il dispositivo e in seguito di aumentare il volume sonoro. La rotazione della manopola verso sinistra abbassa il volume sonoro e infine, allo scatto, spegne il dispositivo.

\* In caso di collegamento con un lettore quale un lettore CD portatile, gli auricolari di un PC o simili, aumentare il volume compatibilmente con il lettore o il PC.

### 3 Terminale di ingresso linea RCA (LINEA 1)

Collegare i dispositivi con il cavo RCA.

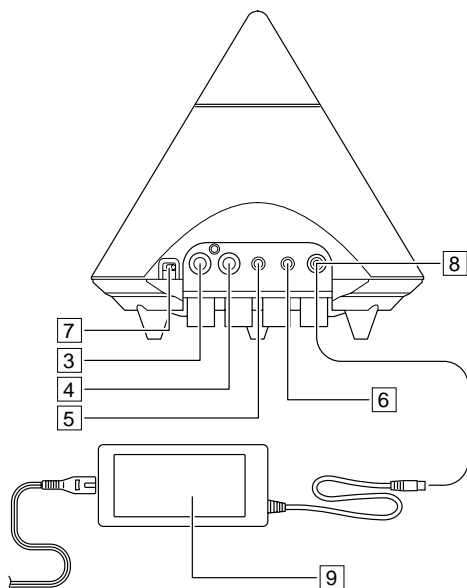
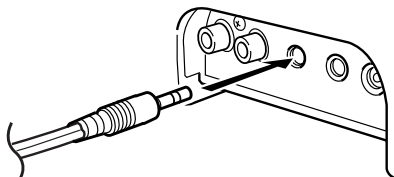
\* In caso di collegamento con un lettore quale un lettore CD portatile o i terminali degli auricolari di un PC, servirsi del cavo RCA - stereo mini jack (1/8").

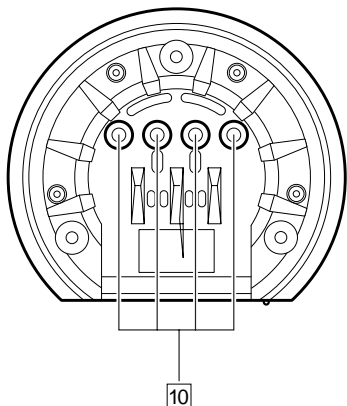


### 5 Terminale di ingresso stereo mini jack (1/8") (LINEA 2)

Collegare i dispositivi con il cavo stereo mini (1/8").

\* In caso di collegamento con un lettore quale un lettore CD portatile o i terminali degli auricolari di un PC, servirsi del cavo stereo mini jack (1/8") - stereo mini jack (1/8").





**4 Terminale di uscita linea stereo mini jack (1/8")**

Questo è il terminale per i segnali di uscita provenienti dall'amplificatore e destinati al subwoofer. La variazione del volume sonoro è controllata dalla manopola di regolazione del volume dell'amplificatore.

\* Il prodotto è sprovvisto di funzione di filtro passa basso. Effettuarne la regolazione sul subwoofer.

\* In caso di collegamento a questo terminale, il filtro passa basso funziona anche per l'uscita del diffusore. (Frequenza di taglio: 80Hz)

**5 Commutatore selettore d'ingresso**

Questo commutatore seleziona gli ingressi linea dell'amplificatore.

Lato sinistro: Ingresso linea RCA (LINEA 1)

Lato destro: Ingresso linea stereo mini jack (1/8") (LINEA 2)

**6 Terminale di alimentazione**

Destinato al collegamento dell'alimentazione.

\* Non usare in nessun caso un adattatore c.a. diverso da quello fornito.

Un adattatore diverso potrebbe provocare guasti o incendi.

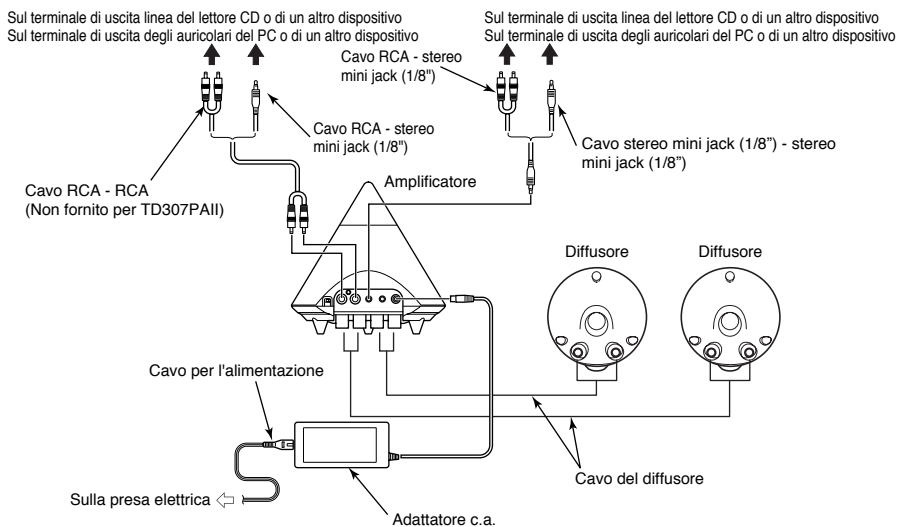
**7 Adattatore c.a.**

**8 Terminali di uscita del diffusore**

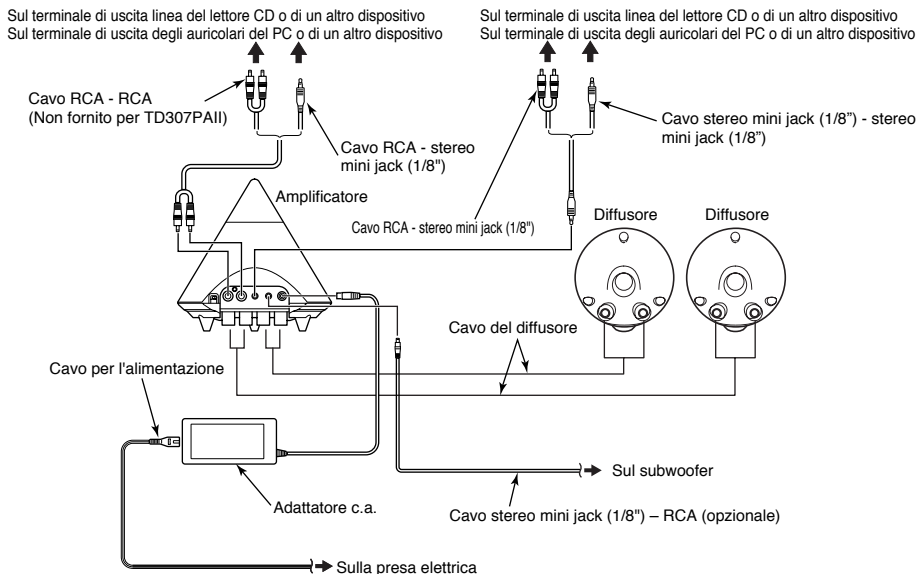
Nell'effettuare il collegamento, fare attenzione a che l'estremità del cavo del diffusore non tocchi il terminale adiacente.

# Esempi di connessione

## ■ Lettore + amplificatore + diffusore



## ■ Lettore + amplificatore + diffusore + subwoofer





# Manutenzione e caratteristiche tecniche

## ■ Manutenzione

Prima di procedere alla manutenzione dell'amplificatore, assicurarsi di averlo spento e di aver disinserito la spina di alimentazione dalla presa elettrica.

Rimuovere ogni sporcizia dal prodotto strofinando delicatamente con un panno morbido.

In caso di sporco tenace, bagnare il panno con acqua, strizzarlo bene, pulire ed asciugare con un panno asciutto.

Non applicare al prodotto benzene o altri diluenti.

Questi agenti chimici potrebbero danneggiare la superficie della scatola.



## ■ Se l'amplificatore presenta delle anomalie di funzionamento

L'amplificatore può smettere di funzionare correttamente se, durante l'uso, subisce un forte disturbo proveniente dall'esterno (tensione di alimentazione anomala inseguito ad un impatto eccessivo, elettricità statica o folgorazione) o se viene maneggiato in modo scorretto.

Se dovesse succedere, spegnere l'amplificatore (interruttore su "OFF"). Dopo aver riacceso l'amplificatore, controllare se il funzionamento è normale.

(Se l'anomalia persiste, contattare Fujitsu Ten.)

### A propos de la directive DEEE

Conformément à la directive DEEE, si ce produit est vendu dans les États membres de l'Union européenne après le 13 août 2005, il doit obligatoirement être pourvu du marquage de la DEEE.

Si vous vous séparez de ce produit dans un État membre, vous devez le faire en

respectant les lois de ce dernier, par exemple en retournant le produit au distributeur.

DEEE : Déchets des Equipements Electroniques et Electriques.

## ■ Caratteristiche tecniche

Si noti che le caratteristiche tecniche e l'aspetto esteriore dell'amplificatore possono subire modificazioni e miglioramenti senza preavviso.

[Sezione amplificatore]

Potenza di uscita nominale :12 W  
(Carico 8  $\Omega$ , THD: 1%)

Potenza in uscita massima :15 W  
(Carico 8  $\Omega$ , THD: 10%)

Tipo di uscita : BLT

Valore totale di distorsione delle alte frequenze:

0,05% (uscita a 1 W: 1 kHz)

Risposta in frequenza :

da 10 Hz a 100 kHz (+/-3 dB)

Sensibilità d'ingresso :180 mVrms  
(uscita a 12 W)

Rapporto segnale/rumore : 85 dB

Grado di separazione : 50 dB

Impedenza d'ingresso : 10 k  $\Omega$

Impedenza di carico compatibile :8  $\Omega$

Dimensioni esterne :

L 159 x P 137 x A 154 (mm)

Ancho: 159 x Prof.: 137 x Alt.: 154

Peso : 930 g

[Adattatore c.a.]

Tensione d'ingresso:

100 V c.a. (Giappone)

120 V c.a. (Nord America)

230 V c.a. (Europa)

Tensione di uscita: +17 V c.c.

Corrente di uscita: 2,9 A c.c.

Dimensioni esterne:

L 121 x P 56 x A 33 (mm)

Peso: 360 g

# Garanzia e servizio post vendita

## ■Certificato di garanzia (incluso)

Leggere attentamente il certificato di garanzia e conservarlo in un luogo sicuro.

Durata della garanzia

Il prodotto è garantito per un anno dalla data di acquisto.

Si noti che alcune spese possono essere a carico dell'utente anche durante il periodo di validità della garanzia: leggere attentamente il certificato di garanzia.

## ■Periodo minimo di disponibilità delle parti suscettibili di riparazione

Il periodo minimo di disponibilità delle parti suscettibili di riparazione per questo prodotto è di 8 anni dalla data di cessazione della produzione.

Questa durata è conforme alle linee guida del MITI (Ministero dell'Economia, del Commercio e dell'Industria).

Per "parti suscettibili di riparazione" si intendono tutte le parti necessarie al mantenimento delle buone prestazioni del prodotto.

## ■Per qualsiasi informazione circa le riparazioni o altri argomenti:

Si prega di contattare l'ufficio informazioni "Fujitsu Ten ECLIPSE TD information", all'indirizzo riportato qui sotto.

**Eclipse TD (UK) Ltd**

Tel : +44 (0)20 7328 4499

Fax : +44 (0)20 7624 6384

mailto : [info@eclipse-td.co.uk](mailto:info@eclipse-td.co.uk)

## ■In caso di necessità di riparazioni


[Durante il periodo di validità della garanzia]

Per la richiesta di riparazioni, presentare il certificato di garanzia.

Le riparazioni verranno effettuate in base alle condizioni stipulate in esso.

[Al termine del periodo di validità della garanzia]

Le possibili riparazioni saranno a carico dell'utente.

 Controlli di manutenzione	Controllare regolarmente il dispositivo per garantirne una durata di servizio soddisfacente!	
	In presenza di una delle seguenti condizioni:	<ul style="list-style-type: none"><li>● Surriscaldamento del cavo dell'alimentazione o della spina</li><li>● Odore di bruciato.</li><li>● Incisione profonda o deformazione del cavo dell'alimentazione.</li><li>● Altre anomalie o guasti</li></ul>

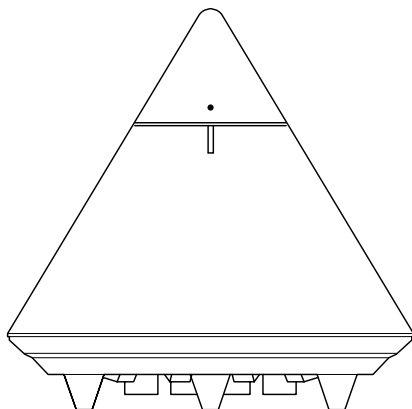
Interrompere immediatamente l'uso del prodotto

Per evitare guasti al prodotto o incidenti, spegnere l'amplificatore, togliere il cavo di alimentazione dalla presa elettrica e richiedere un controllo immediato. Per maggiori informazioni circa i costi di ispezione e riparazione, contattare Fujitsu Ten.



Amplificador **TDA501II**  
Amplificador para **TD307PAII**  
Amplificador para **TD508PAII**

# MANUAL DEL USUARIO DEL AMPLIFICADOR



Gracias por haber comprado este amplificador.

Por favor, lea cuidadosamente este manual de instrucciones y utilice correctamente el producto.

Asegúrese de leer el apartado "Uso seguro y correcto del amplificador" antes de utilizarlo.

Por favor, guarde este manual de instrucciones junto con el certificado de garantía en un lugar siempre a mano.

 FUJITSU TEN

# Índice

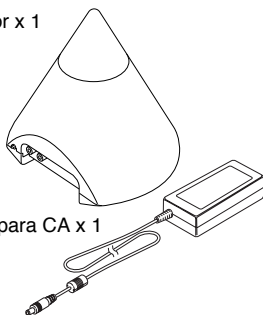
## ■ Índice

Introducción.....	52
Uso seguro y correcto del amplificador.....	53
Precauciones de empleo.....	55
Nombres y funciones de los componentes.....	56
Ejemplo de conexión.....	58
Cuidado y especificaciones.....	59
Garantía y servicio posventa.....	60

# Introducción

## ■ Componentes suministrados

- ① Un amplificador x 1



- ② Un adaptador para CA x 1

- ③ Un cable de alimentación (2 m) x 1  
(Para Japón y EE.UU.)  
(Para el Reino Unido)  
(Para Europa)

- ④ Dos cables para altavoz (3 m) x 2

- ⑤ Un cable RCA a RCA (1,6 m) x 1  
(No provisto para el modelo TD307PAII)

- ⑥ Un cable (1,6 m) RCA hacia mini clavija estéreo (1/8 pulgadas) x 1

- ⑦ Un cable de mini clavija estéreo (1/8 pulgadas) a mini clavija estéreo (1/8 pulgadas)

- ⑧ Una etiqueta autoadhesiva con logotipo x 1

- ⑨ Un manual de instrucciones x 1

- ⑩ Certificado de garantía

Este amplificador está diseñado en base a la lógica de dominio temporal para optimizar la capacidad del altavoz.

### <<¿Qué es la lógica de dominio temporal?>>

La lógica de dominio temporal fue desarrollada para reproducir correctamente la variación en el tiempo de las ondas sonoras desde el punto en el que éstas aparecen hasta el punto en que desaparecen y lograr que las ondas del sonido reproducido sean lo más fieles posible al sonido original.

Los sistemas de audio de dominio temporal mejoran la reproducibilidad utilizando dominios temporales de acuerdo a esta lógica, y han hecho posible reproducir con mayor fidelidad la orientación del sonido y los finos y delicados matices transmitidos a la música por el artista que la interpreta.

# Uso seguro y correcto del amplificador

## ■ Antes de utilizar el producto

Las indicaciones que se brindan a continuación en este manual de instrucciones, así como las incluidas en el producto, le garantizan una utilización segura y correcta del mismo, y evitan riesgos para el usuario u otras personas, así como daños materiales. Asegúrese de asimilar la información contenida en estas indicaciones antes de continuar con la lectura del manual.



### ADVERTENCIA

La omisión esta indicación y el manejo del producto incorrectamente pueden ocasionar la muerte o causar lesiones graves.



### PRECAUCIÓN

La omisión esta indicación y el manejo del producto incorrectamente pueden ocasionar lesiones o daños materiales.



## ADVERTENCIA

- No utilice una tensión de alimentación distinta a la que está marcada en el cuerpo del producto. Esto puede ocasionar un incendio, una electrocución o una avería del producto.
- No abra la cubierta del amplificador.  
Esto puede ocasionar una electrocución o lesiones. Si la unidad necesita una revisión interna, un ajuste o una reparación, rogamos consulte al servicio técnico de Fujitsu Ten.  
No modifique el producto.  
Esto puede ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- No utilice el amplificador en el cuarto de baño, en ningún lugar en el que pueda estar expuesto a la lluvia, ni en un ambiente con humedad elevada.  
Esto puede ocasionar un incendio o una electrocución.
- No coloque floreros, macetas con plantas, tazas o cualquier otro recipiente que contenga cosméticos, productos químicos o agua sobre o cerca del amplificador.  
Si el agua u otra sustancia extraña entrase en el amplificador, podría ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- No utilice un cable de alimentación distinto al que se suministra con el producto.  
El uso de otro cable de alimentación podría ocasionar un incendio o accidentes.
- Evite dañar, doblar en exceso, retorcer o modificar el cable de alimentación y tampoco coloque el amplificador sobre él. Por otra parte, tenga en cuenta que si apoya objetos pesados sobre el cable de alimentación y lo somete al calor o tira de él, podría romperse y ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- No efectúe demasiadas conexiones en el mismo lugar.  
Esto puede ocasionar un incendio debido al calor generado.
- Si el cable de alimentación está dañado (por ejemplo, los hilos metálicos están a la vista o rotos), reemplácelo.  
Si continúa usando un cable dañado puede ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- Si nota una situación anómala, tal como un ruido inusual, calentamiento en el enchufe o en el cable, emisión de humo o un olor extraño, apague la alimentación, desconecte el cable de la toma de corriente y solicite una revisión del equipo.  
El uso continuado del producto en condiciones anómalas podría ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- Si el amplificador se cae o se rompe, apague el interruptor de alimentación del equipo, desenchufe el cable de alimentación (POWER) de la toma de corriente y luego póngase en contacto con el servicio técnico de Fujitsu Ten. Si continúa usando el amplificador bajo estas condiciones podría ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- Durante una tormenta eléctrica, desconecte rápidamente el enchufe de la toma de corriente y evite tocar el receptor o el enchufe de la antena por razones de seguridad. Una descarga atmosférica puede ocasionar un incendio, una electrocución o una avería del producto.

## PRECAUCIÓN

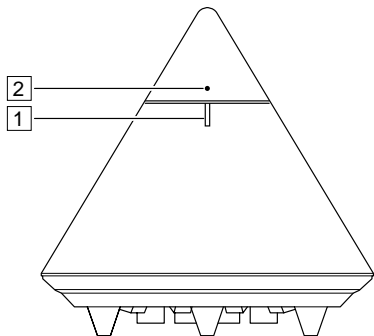
- No desenchufe el equipo de la toma de corriente tirando del cable, puesto que éste puede dañarse y ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- No enchufe ni desenchufe la alimentación del producto con las manos mojadas. Esto puede ocasionar una descarga eléctrica.
- No tienda el cable de alimentación cerca de aparatos que generen altas temperaturas. El aislamiento del cable se derretirá y ocasionará un incendio o una descarga eléctrica.
- Introduzca el enchufe del cable de alimentación en la toma de corriente hasta la base de las patillas. Si el enchufe no está completamente insertado se calentará, y el polvo depositado sobre él podría ocasionar un incendio. Además, cualquier persona que toque las patillas del enchufe podría sufrir una descarga eléctrica.
- No conecte el equipo a una toma de corriente en la cual el enchufe quede flojo, aunque éste haya sido insertado hasta la base de las patillas, ya que el enchufe se calentará y podría ocasionar un incendio. Solicite a un electricista la inspección de la toma de corriente.
- Si quedan restos de polvo o metal adheridos a las patillas del enchufe de alimentación o cerca de ellas, retírelo de la toma de corriente y limpie el polvo o el metal con un paño seco. El uso de un enchufe con polvo o restos de metal puede ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- No coloque el amplificador sobre lugares inestables o elevados, como por ejemplo un estante no muy sólido o una superficie inclinada. El amplificador podría caerse y ocasionar fallos en el producto o lesiones.
- No coloque el amplificador en un lugar donde estará expuesto a vapor de aceite o agua, por ejemplo, próximo a una mesa de cocina o humidificador. Esto puede ocasionar un incendio o accidentes.
- No coloque el amplificador en un lugar expuesto a corrientes de aire frío de forma directa, puesto que éstas pueden ocasionar condensación, pérdidas de corriente o la ignición del equipo.
- No coloque el amplificador en un lugar expuesto a la luz solar directa por largos períodos de tiempo o cercano a equipos de calefacción. El calor puede ocasionar la deformación o decoloración de la caja del equipo, o provocar un incendio.
- No coloque el amplificador en un lugar extremadamente frío. Esto puede ocasionar el fallo del producto o accidentes.
- No coloque el amplificador cerca de llamas directas. Esto puede ocasionar el fallo del producto o accidentes.
- Si hay una interferencia de radio en el amplificador debido a, por ejemplo, su proximidad con un sintonizador, aumente la distancia de separación entre ambos equipos.
- Antes de mover el amplificador, apague primero la alimentación de los dispositivos conectados y desenchufe el cable de suministro eléctrico, los cables de conexión de cada dispositivo, los cables de los altavoces, etc. Si mueve el amplificador con los cables conectados, podría dañar alguno de éstos y ocasionar un incendio o una descarga eléctrica.
- Asegúrese de apagar el suministro eléctrico y desconectar el enchufe de alimentación de la toma de corriente antes de limpiar o realizar tareas de mantenimiento en el producto. En caso contrario podría sufrir una descarga eléctrica o lesiones.
- Por razones de seguridad, si no utiliza el amplificador por un largo tiempo, por ejemplo, durante un período vacacional, apague siempre la alimentación del equipo y desenchufe el cable de alimentación de la toma de corriente. De lo contrario, existe un riesgo de incendio.
- Antes de conectar un televisor o cualquier otro equipo de audio, asegúrese de apagar la alimentación, leer atentamente los manuales de instrucción de los dispositivos que desea conectar y realizar las conexiones de acuerdo a lo indicado en dichos manuales.
- Antes de encender el equipo, asegúrese de que los volúmenes del altavoz de graves y del amplificador estén ajustados al mínimo. En caso contrario, podría generarse un ruido muy fuerte y repentino, que podría provocar trastornos auditivos u otros problemas.
- Si oye un ruido extraño con el equipo de audio funcionando a un volumen alto, baje el volumen. Si continúa utilizando el amplificador a un volumen alto, o si lo utiliza por largo tiempo produciendo un sonido distorsionado, el altavoz se calentará y podría ocasionar un incendio.

# Precauciones de empleo

- Asegúrese siempre de bajar el volumen al mínimo antes de encender la alimentación y cambiar las entradas.  
Una emisión potente y repentina podría dañar el sistema de altavoces conectado.
- Según el emplazamiento, la música a volumen elevado puede molestar a otras personas. Rogamos ajuste el volumen a un nivel adecuado para no molestar a sus vecinos.  
Recuerde que, especialmente durante la noche, incluso un volumen no elevado será claramente perceptible.  
Rogamos respete unas ciertas normas con el fin de mantener una buena convivencia.
- Asegúrese de haber apagado todos los dispositivos antes de conectar el altavoz.  
Si se produce un cortocircuito accidental del cableado del altavoz, se activará el circuito de protección del amplificador, lo cual ocasionará una suspensión temporal de la emisión de sonido. En tal caso, desconecte temporalmente el enchufe del cable de alimentación de la toma de corriente, repare a continuación el cortocircuito y conecte nuevamente el enchufe para utilizar el amplificador.  
El lado negativo de la salida del amplificador no está conectado a tierra. Tenga cuidado de no conectarlo al lado negativo de los otros dispositivos mediante el selector de altavoces u otros.
- Si el amplificador se ensucia, límpielo cuidadosamente con un paño humedecido con detergente neutro.  
No utilice diluyentes ni solventes como, por ejemplo, benceno.

# Nombres y funciones de los componentes

## ■ Unidad principal



### 1 Indicador de encendido

Se ilumina al encender la alimentación ("ON").

### 2 Interruptor de alimentación con función de ajuste de volumen.

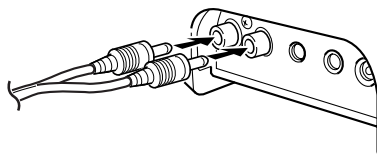
La ruedecilla enciende (ON) o apaga (OFF) la alimentación y ajusta el volumen del sonido. Al girar el mando a la derecha se enciende el equipo (oír un "clic") y sube el volumen del sonido. Al girar el mando hacia la izquierda baja el volumen del sonido, y al final del recorrido apaga el equipo (nuevamente oír un "clic").

\* Si conecta el amplificador a un reproductor como, por ejemplo, un reproductor portátil para cedés o al terminal para auriculares de un PC u otros dispositivos, suba el volumen del sonido de forma apropiada en el reproductor o en el PC.

### 3 Terminal de entrada de línea RCA (LINE 1)

Conecta los dispositivos con el cable RCA.

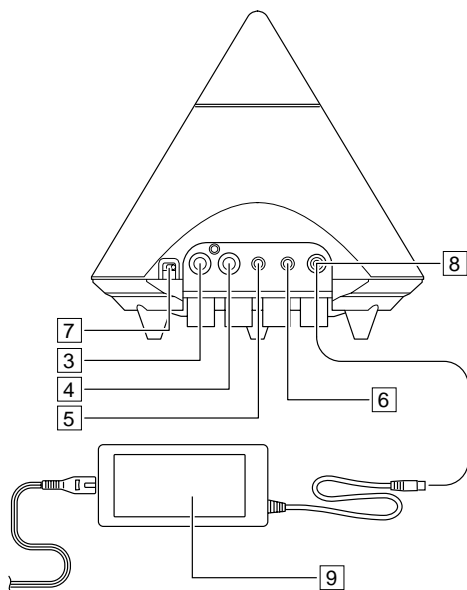
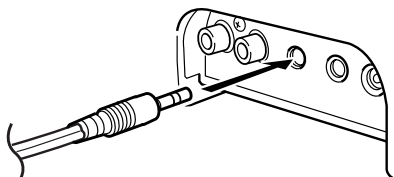
\* Si conecta el amplificador a un reproductor, por ejemplo, a un reproductor portátil para cedés o a la clavija para auriculares de un PC, utilice el cable RCA hacia mini clavija estéreo (1/8 pulgadas), suministrado con el equipo.



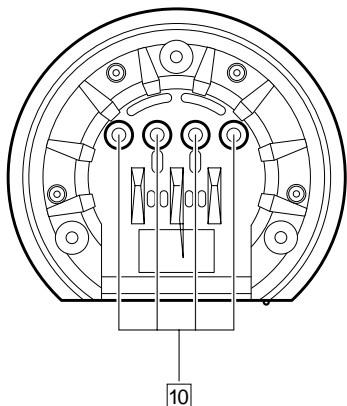
### 5 Terminal de entrada de línea mini clavija estéreo (1/8 pulgadas) (LINE 2)

Conecte los dispositivos con el cable mini clavija estéreo (1/8 pulgadas).

\* Si conecta el amplificador a un reproductor, como por ejemplo, un reproductor portátil para cedés o a la clavija para auriculares de un PC, utilice el cable mini clavija estéreo (1/8 pulgadas) a mini clavija estéreo (1/8 pulgadas) suministrado.







**4 Terminal de salida de línea mini clavija estéreo (1/8 pulgadas)**

Éste es el terminal para las señales emitidas del amplificador al altavoz de graves. El volumen del sonido cambiará de forma proporcional a las vueltas que gire la ruedecilla de ajuste de volumen del amplificador.

\* Este producto no tiene la función de filtro pasa bajo. Ajustelo en el lado del altavoz de graves.

\* Si se conecta a este terminal, la función de filtro pasa bajo se aplica a la salida del altavoz. (Frecuencia de corte: 80 Hz)

**5 Interruptor selector de entrada de línea**

Este interruptor selecciona las entradas de línea al amplificador.

Lado izquierdo: entrada de línea RCA (LINE 1)

Lado derecho: entrada de línea (LINE 2) mini clavija estéreo (1/8 pulgadas)

**6 Terminal para la alimentación eléctrica**

Éste conecta el suministro eléctrico.

\* Nunca, y por ningún motivo, utilice otro adaptador para CA que no sea el suministrado con el equipo.

En caso contrario podría ocasionar un fallo o un incendio.

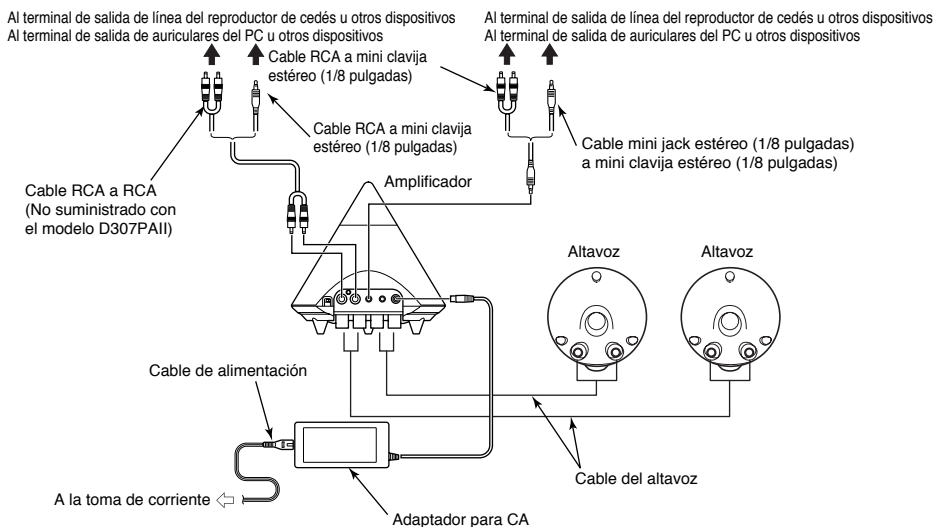
**7 Adaptador para CA**

**8 Terminales de salida del altavoz**

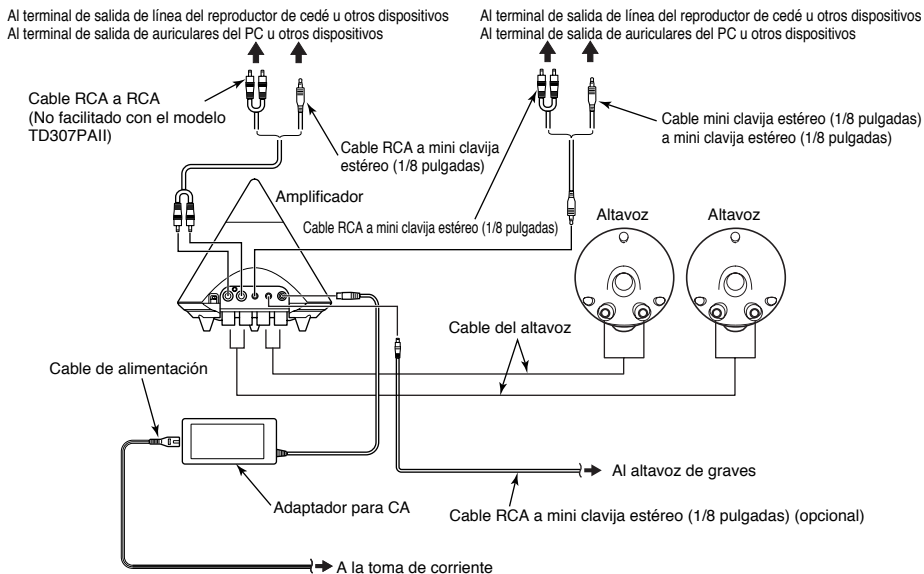
Al conectarlos, hágalo firmemente y preste especial atención para que la punta del cableado del altavoz no toque el terminal contiguo.

# Ejemplo de conexión

## ■ Reproductor + Amplificador + Altavoz



## ■ Reproductor + Amplificador + Altavoz + Altavoz de graves



# Cuidados y especificaciones

## ■ Cuidados

Asegúrese de APAGAR la alimentación y desenchufar el cable de alimentación de la toma de corriente antes de limpiar el amplificador.

Elimine la suciedad del producto limpiándolo cuidadosamente con un paño suave.

Si el equipo está muy sucio, humedezca el paño con agua, escúrralo bien, limpie el equipo y luego complete la tarea con un paño seco.

No limpie el equipo con solventes como, por ejemplo, benceno ni con diluyentes.

Esto podría dañar la superficie de la cubierta.



## ■ Si el amplificador no funciona correctamente

Si durante su uso el amplificador es sometido a un fuerte ruido externo (suministro de tensión inadecuado debido a un fuerte impacto, electricidad estática o descargas atmosféricas), o a un trato incorrecto, podría dejar de funcionar correctamente.

Si esto sucede, apague el interruptor de alimentación (OFF).

Encienda nuevamente el equipo y verifique que funcione normalmente.

(Si el fallo persiste, rogamos se ponga en contacto con el servicio técnico de Fujitsu Ten).

### Avviso per la direttiva RAEE

In base alla direttiva RAEE, se questo prodotto è venduto negli Stati membri dell'Unione Europea dopo il 13 agosto 2005, esso deve necessariamente comportare il segno RAEE.

Se questo prodotto viene buttato in uno stato membro dell'Unione Europea, farlo

conformemente alle leggi del paese, per esempio riportandolo al distributore.

RAEE : Rifiuti di apparecchiature Elettriche ed Elettroniche.

## ■ Especificaciones

Por favor, tenga en cuenta que las especificaciones y el aspecto externo del amplificador están sujetos a cambios sin previo aviso debido a la posible introducción de mejoras.

[Amplificador]

Potencia nominal :12 W

(carga 8  $\Omega$ , THD: al 1%)

Potencia máxima :15 W

(carga 8  $\Omega$ , THD: al 10%)

Tipo de salida : salida BLT

Factor de distorsión de alta frecuencia total:

0,05% (a 1 W de salida: 1 kHz)

Características de frecuencia :

10 Hz a 100 kHz (+/-3 dB)

Sensibilidad de entrada :180 mVrms

(a 12 W de salida)

Relación señal/ruido : 85 dB

Grado de separación : 50 dB

Impedancia de entrada : 10 k $\Omega$

Impedancia de carga compatible :8  $\Omega$

Dimensiones exteriores (en mm) :

Ancho: 159 x Prof.: 137 x Alt.: 154

Peso : 930 g

[Adaptador para CA]

Tensión de entrada:

100 VCA (para Japón)

120 VCA (para Norteamérica)

230 VCA (para Europa)

Tensión de salida: +17 VCC

Corriente de salida: 2,9 ACC

Dimensiones exteriores (en mm):

Ancho: 121 x Prof.: 56 x Alt.: 33

Peso: 360 g

# Garantía y servicio posventa

## ■Garantía (resumida)

Lea cuidadosamente la garantía y guárdela en un lugar seguro.

Período de garantía

El período es un año a partir de la fecha de compra.

Tenga en cuenta que podría haber costos a su cargo aún dentro del período de garantía: lea atentamente la garantía.

## ■Tiempo mínimo de duración de componentes susceptibles de reparación

El tiempo mínimo de duración de los componentes susceptibles de reparación de este producto es de 8 años a partir del momento en que su producción cesa.

Este plazo cumple con las estipulaciones del MITI (Ministerio de Comercio Internacional e Industria de Japón).

Se define como "Piezas susceptibles de reparación" a aquellas piezas que son necesarias para mantener un rendimiento óptimo del producto.

## ■Si tiene dudas acerca de las reparaciones o sobre cualquiera de los puntos de este manual:

por favor, póngase en contacto con el servicio de información Fujitsu Ten ECLIPSE TD que se indica a continuación.

**Eclipse TD (UK) Ltd**

Tel : +44 (0)20 7328 4499

Fax : +44 (0)20 7624 6384

mailto : info@eclipse-td.co.uk

## ■Cuando se soliciten reparaciones


[Dentro del período de garantía]

Por favor, envíe el certificado de garantía si solicita reparaciones.

Repararemos el producto de acuerdo con lo estipulado en la garantía.

[Fuera del período de garantía]

Si el producto puede ser reparado, llevaremos a cabo el trabajo de reparación en base a una tarifa.

 Inspecciones de rutina	La revisión periódica del equipo prolongará la vida útil del mismo	
	<table border="1"><tr><td>Detección de alguno de los siguientes indicios</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>● El cable de alimentación o su enchufe están excesivamente calientes.</li><li>● Hay olor a quemado.</li><li>● El cable de alimentación tiene un corte profundo o está deformado.</li><li>● Otras anomalías o fallos.</li></ul></td></tr></table>	Detección de alguno de los siguientes indicios
Detección de alguno de los siguientes indicios	<ul style="list-style-type: none"><li>● El cable de alimentación o su enchufe están excesivamente calientes.</li><li>● Hay olor a quemado.</li><li>● El cable de alimentación tiene un corte profundo o está deformado.</li><li>● Otras anomalías o fallos.</li></ul>	

Si detectó algunos de los anteriores indicios, deje de utilizar el producto

Para evitar averías en el producto o accidentes, apague la alimentación, desenchufe el cable de alimentación de la toma de corriente y solicite urgentemente una revisión. Si necesita mayor información acerca de los costos por revisión y reparaciones, póngase en contacto con el servicio técnico de Fujitsu Ten.

# MEMO

# MEMO



---

**FUJITSU TEN**

090001-14880700  
0612(K.F)